

矢吹町立幼稚園の
適正規模・適正配置基本計画
(案)

令和6年7月
矢吹町教育委員会

目 次

1. 計画の策定にあたって	2
(1) 背景と目的	2
(2) 本計画の位置づけ	2
(3) 計画期間	2
2. 町立幼稚園の現状と課題	3
(1) 町立幼稚園の状況	3
(2) 町立幼稚園の園児数の推移と見通し	5
(3) 保護者及び地域住民のご意向	7
(4) 再配置に関する課題	10
3. 望ましい幼稚園規模と再配置の進め方及び実施時期	11
(1) 望ましい幼稚園規模	11
(2) 町立幼稚園の学級規模に関する見通し	11
(3) 再配置の進め方及び実施時期	12
4. 再配置により設置する町立幼稚園の立地場所	14
(1) 候補地の条件	14
(2) 候補地の比較評価の考え方	17
(3) 立地場所の選定	17
5. その他検討事項	19
(1) 町立幼稚園に期待されている教育内容	19
(2) 運営形態	20
(3) 通園の長距離化への対応	21
(4) 小学校の適正規模・適正配置	21
6. 計画の推進に向けて	22
7. 参考資料	23

1. 計画の策定にあたって

(1) 背景と目的

全国的に進行している少子化の現状を踏まえ、矢吹町教育委員会では望ましい学校教育環境の整備に取り組むため、令和4年度に矢吹町学校規模適正化検討委員会（以下、委員会という。）を設置し、幼稚園のより良い教育環境の整備及び充実した幼児教育の実現に資するため「町立幼稚園の適正な規模及び配置のあり方」について諮問答申を行いました。

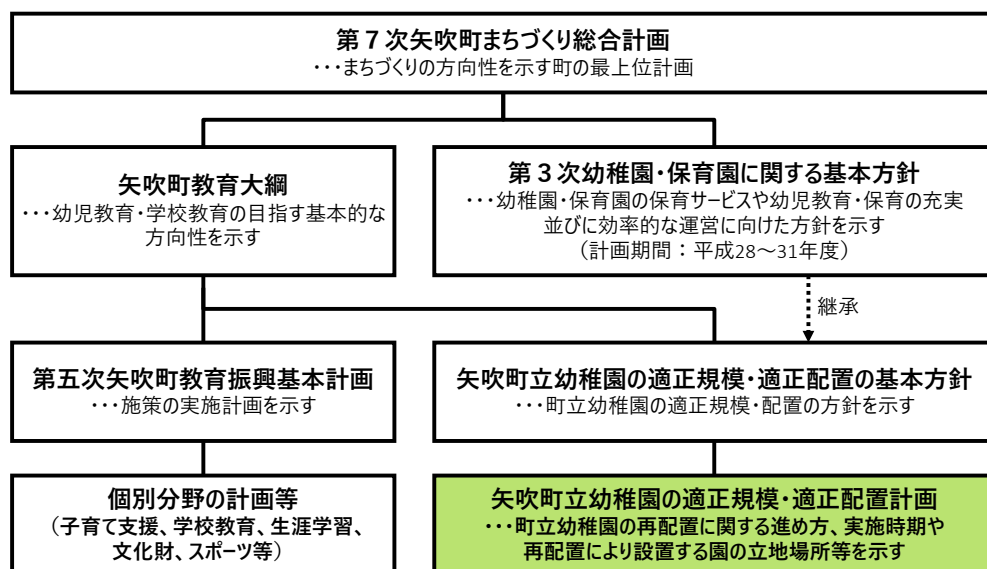
保護者や地域住民の意見も踏まえ、学識経験者、幼稚園・小学校の保護者、幼稚園長・小学校長、行政区長等の委員により審議を行った結果をとりまとめ令和5年2月に答申を行い、この答申に基づき令和5年4月に「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置の基本方針」（以下、基本方針という。）を策定しました。

以上の経緯を踏まえ、今後の幼児教育にふさわしい環境整備に向けて、幼稚園の適正規模・適正配置の具体的な施策を示す「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置計画」（以下、基本計画という。）を策定します。

(2) 本計画の位置づけ

本計画は矢吹町まちづくり総合計画及び矢吹町教育大綱に紐づくものであり、また、第3次幼稚園・保育園に関する基本方針を受け継いで令和5年度に策定した基本方針に基づき、町立幼稚園の再配置(統合等)に関する実施時期や幼稚園候補地等を示すものです。

【本計画の位置づけ】



※上記以外にも、関連計画として文部科学省「第4期教育振興計画」、福島県「第7次福島県総合教育計画」、矢吹町「第2期子ども・子育て支援事業計画」等があります。

(3) 計画期間

本計画の期間は令和6年度から令和15年度までの10年間とします。なお、園児数や幼稚園施設の状況、その他社会情勢の変化に応じて適宜見直しを行います。

2. 町立幼稚園の現状と課題

町立幼稚園の状況、園児数の見通し、保護者及び地域住民のご意向を把握したうえで、今後の町立幼稚園のあり方に関する課題を整理しました。

(1) 町立幼稚園の状況

① 位置関係

町立幼稚園は、町の西部に矢吹幼稚園、中央北部に中央幼稚園、中央南部に中畑幼稚園、東部に三神幼稚園が位置しており、概ね町の東西南北の各地区に1園ずつ所在している状況です。

また、各地区の町立幼稚園の近隣には町立小学校が所在しており、各地区において幼稚園と小学校の連携・交流が行われています。町立中学校は過去の統合により町の中央部に1校所在しています。

【町立学校・幼稚園の学区地図】



② 町立幼稚園の状況

町立幼稚園４園はいずれも築年数が３０年以上となっており、老朽化が進んでいます。また、いずれの園も園児数の定員に対して在園児数は半数以下となっています。

【町立幼稚園一覧】

施設名称		矢吹幼稚園	中央幼稚園	中畑幼稚園	三神幼稚園
所在地		矢吹町大町 184 番地 10	矢吹町一本 木 85 番地 1	矢吹町根宿 520 番地 1	矢吹町神田 西 130 番地 1
管理方式		公設公営			
所管課		子育て支援課			
土地	敷地面積	4,326.15 ㎡	4,396.00 ㎡	5,412.00 ㎡	4,119.66 ㎡
	所有区分	町有地			
	駐車可能台数	70 台	50 台	20 台	8 台
園舎	建築年度	1989 年	1978 年	1979 年	1977 年
	建築面積	600.48 ㎡	955.89 ㎡	584.47 ㎡	582.39 ㎡
	延床面積	600.48 ㎡	834.79 ㎡	584.47 ㎡	585.39 ㎡
	階数	1 階			
	構造	鉄骨造	鉄骨造	鉄骨造	鉄筋コンクリート
園児・学級	3 歳児（年少）	10 人・1 学級	22 人・1 学級	12 人・1 学級	13 人・1 学級
	4 歳児（年中）	7 人・1 学級	30 人・2 学級	10 人・1 学級	9 人・1 学級
	5 歳児（年長）	21 人・1 学級	32 人・2 学級	10 人・1 学級	18 人・1 学級
	合計	38 人・3 学級	84 人・5 学級	32 人・3 学級	40 人・3 学級
	定員	110 人	180 人	90 人	90 人
預かり保育	3 歳児（年少）	5 人	12 人	8 人	5 人
	4 歳児（年中）	2 人	15 人	3 人	8 人
	5 歳児（年長）	10 人	18 人	4 人	10 人
	合計	17 人	45 人	15 人	23 人

※令和５年４月１日時点

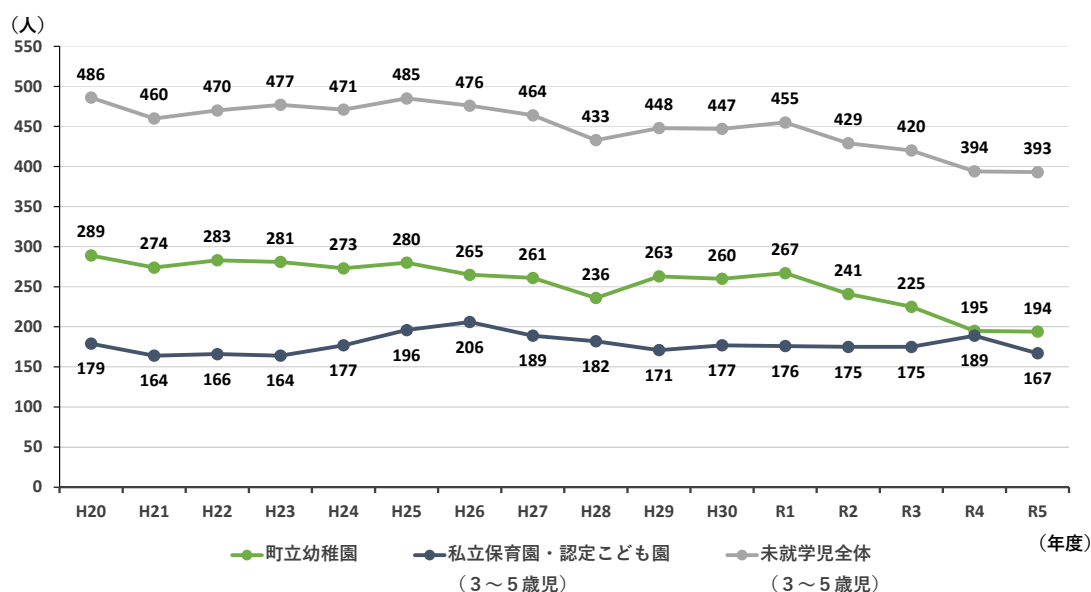
(2) 町立幼稚園の園児数の推移と見通し

町立幼稚園の園児数について、過去の推移と今後の見通しを把握しました。

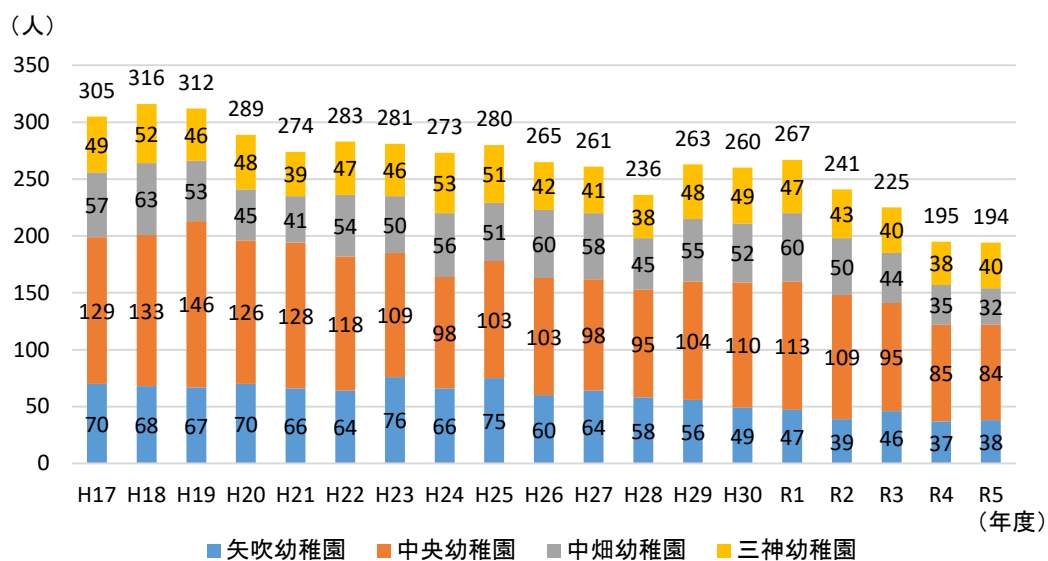
① 園児数の推移

町立幼稚園の園児数は右肩下がり推移しています。平成 20 年度には 289 人であったところ、令和 5 年度には 194 人となっており、15 年間で約 7 割となっています。

【未就学児及び園児数の推移】



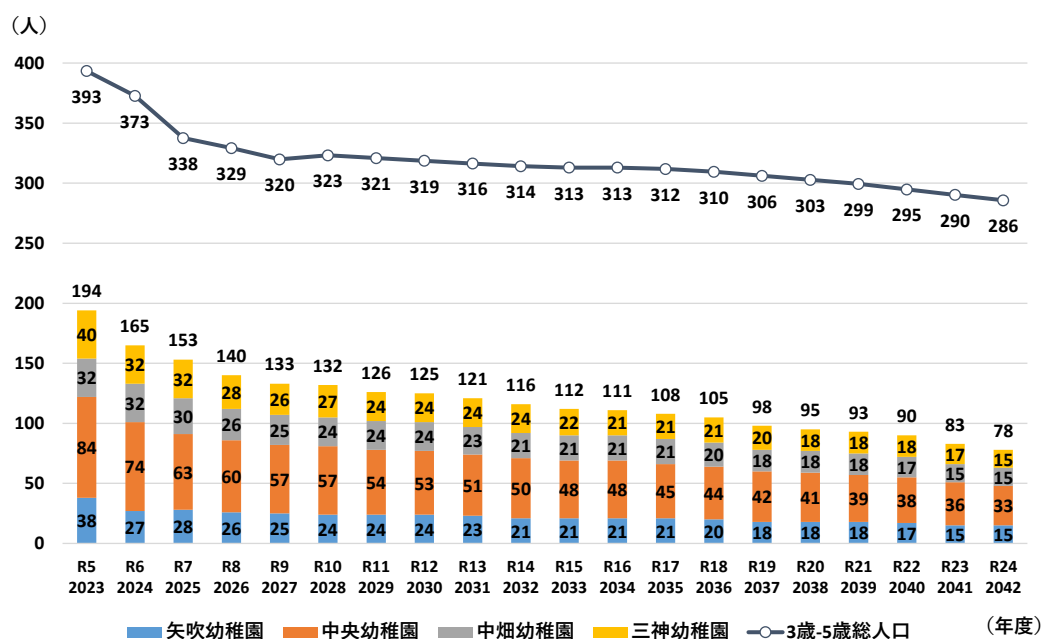
【園別の園児数の推移】



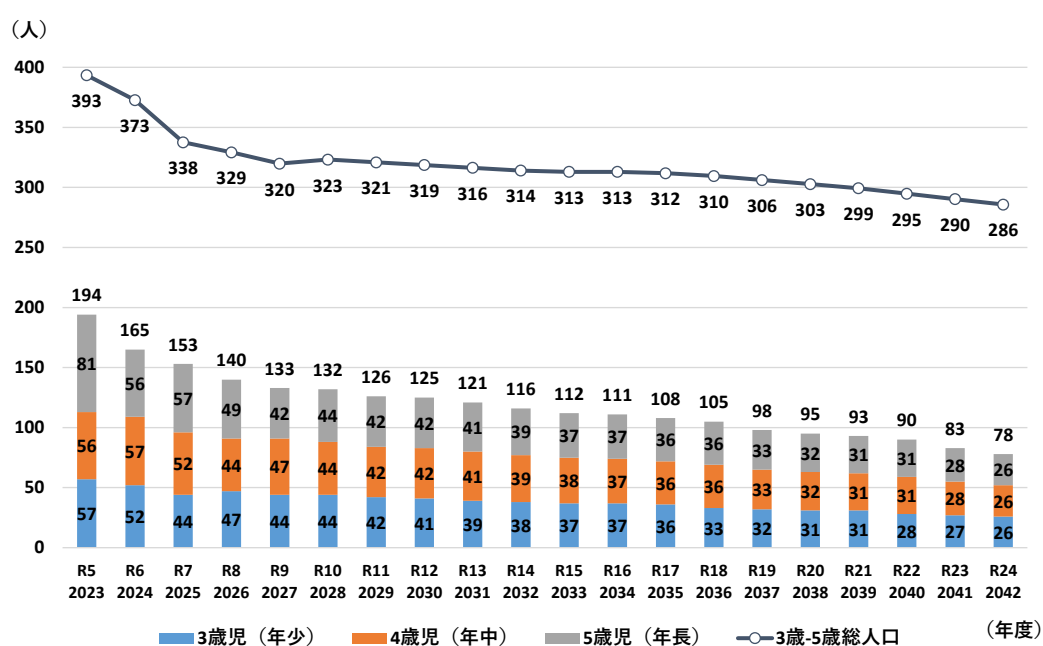
② 園児数の見通し

町立幼稚園の園児数は今後も減少が続くと見込まれています。コーホート変化率法により園児数の将来推計を行った結果、18年後の令和24年度には4園の園児数の合計が78人となる見込みであり、また、矢吹幼稚園、中畑幼稚園、三神幼稚園では各園の園児数が15人程度になると見込まれています。

【園別の園児数の見通し】



【年齢別の園児数の見通し】



(3) 保護者及び地域住民のご意向

ワークショップ及びアンケートを通じて、保護者及び地域住民等のご意向を把握しました。

① ワークショップ

町の子育て世帯への支援状況や保育・教育の現状について説明し、町内在住の子育て世帯の方々と意見交換を行い、アイデアを取りまとめて今後の子育て支援策等に反映させることを目的として、ワークショップを開催しました。

概要は以下のとおりです。

＜開催の概要＞

開催日時：令和4年12月11日（日）

開催場所：矢吹町複合施設 KOKOTTO マルチルーム

参加者：13名

開催内容：講義「子育て世帯への支援状況と保育・教育の現状について」及び
ワーク「町の子育て支援策について」「教育・保育…子どもたちの未来へ」

【ワークショップでいただいたご意見の概要】

ワーク	カテゴリ	行政による検討事項	地域住民との協働による検討事項
ワーク1 町の子育て支援策について	子育て支援策	・子育て世代に寄り添った育児関連物品の支援について ・預かり保育制度の理解及び利用普及について ・予防接種助成拡充について	・使わなくなった育児関連物品の提供 ・父親を対象とした子育て支援策はどのようなものがあるか意見をもらいながら考える ・子どもの居場所(子ども食堂など)さらなる拡充を進める
	交流・相談の場	・子育て関連施設での相談体制の充実化について ・子ども家庭総合支援拠点の整備	・同世代の子育て世代や地域のお年寄りとの触れ合いの機会づくり ・子育てサークル活動による交流の場づくり
	情報発信	・子育て支援情報誌の定期送付について ・LINE や SNS を活用した、目に留まる情報発信の方法について	・ワークショップやアンケート調査への積極的な参加
ワーク2 教育・保育…子どもたちの未来へ	小学校 幼稚園 保育園 認定こども園	・就学前に小学生と関われる機会について ・老朽化施設の方向性について ・学校以外の学びの場について	・様々な地域の方との交流促進 ・保護者の学びの機会の充実

ワーク	カテゴリ	行政による検討事項	地域住民との協働による検討事項
		(社会の求める新しいスキル等、プログラミング、お金について等) ・施設周辺的环境整備について	

② 保護者アンケート

町立幼稚園の適正規模・適正配置に関する検討を行うための基礎資料とするため、未就学児の保護者を対象として保護者アンケートを実施しました。

概要は以下のとおりです。

＜調査の概要＞

調査地域：矢吹町全域

調査対象：矢吹町内在住の0歳児から小学校入学前のお子さんのいる世帯
(563世帯)

調査期間：令和5年6月20日(火)～7月3日(日)

回答方法：WEBアンケート(Microsoft forms)又は紙調査票による回答

回収状況：WEBアンケートによる回答244件、紙調査票による回答0件

回収率：43.3%(対象：563世帯、回答：244件)

【保護者アンケートの結果概要】

設問内容	主な回答
町立幼稚園の再配置に関して不安に感じる点	最多回答：「園が遠くなる可能性がある」 次点：「子ども一人ひとりに目が行き届きにくくなる」
幼稚園の立地環境で特に重要と考える条件	最多回答：「敷地や園舎が広々としている場所」 次点：「地理的に地震・水害等の災害の被害を受ける可能性が低い場所」
幼児教育に関して特に重要と考える条件	最多回答：「子どもに目が行き届くよう教職員が配置されている」 次点：「集団での遊びや学びの機会が充実している」
統合する幼稚園に期待すること	ソフト： 子ども一人ひとりに目が行き届くような教職員の配置、集団での遊びや学びの充実、教育内容の充実、預かり保育の拡充、幼稚園給食の提供 ハード： 新しく綺麗な園舎、園舎・園庭・駐車場等のための十分なスペース

③ こどもアンケート

町立幼稚園の適正規模・適正配置に関する検討を行うための基礎資料とするため、保護者や大人だけの意見でなく、こどもの意見を取り入れるため、町内の小学生、中学生及び高校生を対象にこどもアンケートを実施しました。

概要は以下のとおりです。

＜調査の概要＞

調査地域：矢吹町全域

調査対象：矢吹町内の小学校5年生及び6年生、中学生、光南高校生
(1,321名)

調査期間：令和6年4月24日（水）～5月7日（火）

回答方法：WEBアンケート（Microsoft forms）又は紙調査票による回答

回収状況：WEBアンケートによる回答717件、紙調査票による回答151件
計868件

回収率：65.7%（対象：1,321件、回答868件）

【こどもアンケートの結果概要】

設問内容	回答所見
あなたが通っていた幼稚園・保育園・認定こども園での思い出や、良かった・楽しかったと思う体験を教えてください。	社会生活の体験や自然などへの興味関心と理解などに対する行事「遠足」「お泊り会」「散歩」が多数ありました。これまでの幼稚園教育の取り組みにおいて、継続すべき結果となりました。 一方で、日常の会話や絵本、童話等に親しむことや、言葉の使い方に対する「平仮名の練習」や「紙芝居の読み聞かせ」と回答するものが一部あったことから、今後、強化を図る結果となりました。
あなたがもう一度、5歳に戻れるとしたら、幼稚園・保育園・認定こども園で、なにをやってみたいですか。	音楽やカラダによる表現とした「お遊戯会」や「運動会」、感性や表現力を養うための「外遊び」や「お絵描き」などが多数ありました。 一方で、「思い出や、良かった・楽しかったと思う体験」の設問と同様に、日常の会話や絵本、童話等に親しむことや、言葉の使い方に対する「本を読みたい」や「もっと勉強をしたかった」という意見が一部あったことから、今後の検討事項となる結果となりました。

(4) 再配置に関する課題

町立幼稚園の園児数の減少や町立幼稚園施設の老朽化に対応するため、令和5年度に基本方針を策定し、町立幼稚園の再配置を進めることとしました。

町立幼稚園に関する現状及び見通しを踏まえると、再配置を進めるにあたって以下の4点が課題となります。

① 学級規模の確保

望ましい幼児教育の環境整備のためには、町立幼稚園の各学級において集団での遊びや学びが経験できるように、今後も町立幼稚園において一定程度の学級規模を確保することが必要となります。

② 再配置の進め方及び実施時期の検討

現在でも矢吹幼稚園、中畑幼稚園、三神幼稚園などで園の小規模化が進んでおり、今後さらに園児数の減少が続くと見込まれていることから、適切な再配置の進め方及び実施時期を検討する必要があります。

③ 再配置により設置される町立幼稚園の立地場所の検討

再配置を行うにあたり、どのような場所が候補地となり、アクセスや周辺の自然環境など様々な観点を踏まえた上で、どの候補地を立地場所とするかを選定する必要があります。

④ 保護者や地域住民への配慮

町立幼稚園の再配置は「子どもたちにとって何がよいか」という視点が最も重要となるものの、再配置は園児のみならず保護者や地域住民の生活に影響を及ぼすものであることから、アンケートや説明会、ワークショップ等を通じて把握した保護者や地域住民のご意向を踏まえる必要があります。

3. 望ましい幼稚園規模と再配置の進め方及び実施時期

(1) 望ましい幼稚園規模

令和5年度に策定した基本方針では、園児間の人間関係といった他者との関わりによる「人的環境」を整えることが重要となることから、町立幼稚園における各学級において集団での遊びや学びが経験できるよう、園児数20人程度の学級を編制することができる幼稚園規模が望ましいことを確認しました。なお、現在より1学級当たりの園児数が増えることになるため、園児一人ひとりに目が行き届くように教職員の配置等について配慮が必要となります。

しかし、町全体として園児数の減少が進むなかで、将来にわたり20人以上の学級規模を確保し続けることは難しい可能性があることから、中長期的（少なくとも今後20年間）に実現可能と考えられる望ましい幼稚園規模を「1学級当たりの園児数11～20人」と設定しました。

望ましい学級規模・・・1学級当たりの園児数11～20人

<考え方>

- ・ 1学級当たりの園児数が11～20人であれば、5人程度のグループを複数作成することができ、集団での教育効果を最低限確保できるものと考えられる
- ・ 令和4年度に実施した保護者アンケート調査結果では、望ましいと思う1学級あたりの園児数は「11～20人」との回答が最も多かった

したがって、今後園児数の減少が進み、園の全学級において1学級あたりの園児数が11人未満となれば、その園は望ましい学級規模を確保できておらず早期に再配置を実施する必要があると考えました。

(2) 町立幼稚園の学級規模に関する見通し

いつまで望ましい幼稚園規模を維持できるか、またいつ維持できなくなるかを可視化するため、下表のとおり今後20年間の4園における各学年の園児数及び学級数を整理しました。

令和8年度には、矢吹、中畑、三神の3園において全ての学年で1学級あたりの園児数が11人未満となると見込まれていることから、令和8年度以降には再配置が必要となります。

【園別の各学年における児童数・学級数の将来推計】

年度		R5 2023		R6 2024		R7 2025		R8 2026		R9 2027		R10 2028		R11 2029		R12 2030		R13 2031		R14 2032	
園児数（学級数）		園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級
矢吹 幼稚園	3歳児（年少）	10	(1)	10	(1)	8	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	7	(1)	7	(1)
	4歳児（年中）	7	(1)	10	(1)	10	(1)	8	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	7	(1)
	5歳児（年長）	21	(1)	7	(1)	10	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	7	(1)
	合計	38	(3)	27	(3)	28	(3)	26	(3)	25	(3)	24	(3)	24	(3)	24	(3)	23	(3)	21	(3)
中央 幼稚園	3歳児（年少）	22	(1)	22	(1)	19	(1)	20	(1)	19	(1)	19	(1)	18	(1)	17	(1)	17	(1)	16	(1)
	4歳児（年中）	30	(2)	22	(1)	22	(1)	19	(1)	20	(1)	19	(1)	18	(1)	18	(1)	17	(1)	17	(1)
	5歳児（年長）	32	(2)	30	(2)	22	(1)	21	(1)	18	(1)	19	(1)	18	(1)	18	(1)	17	(1)	17	(1)
	合計	84	(5)	74	(4)	63	(3)	60	(3)	57	(3)	57	(3)	54	(3)	53	(3)	51	(3)	50	(3)
中畑 幼稚園	3歳児（年少）	12	(1)	10	(1)	8	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	7	(1)	7	(1)
	4歳児（年中）	10	(1)	12	(1)	10	(1)	8	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	7	(1)
	5歳児（年長）	10	(1)	10	(1)	12	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	7	(1)
	合計	32	(3)	32	(3)	30	(3)	26	(3)	25	(3)	24	(3)	24	(3)	24	(3)	23	(3)	21	(3)
三神 幼稚園	3歳児（年少）	13	(1)	10	(1)	9	(1)	9	(1)	9	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)
	4歳児（年中）	9	(1)	13	(1)	10	(1)	9	(1)	9	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)
	5歳児（年長）	18	(1)	9	(1)	13	(1)	10	(1)	8	(1)	9	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)	8	(1)
	合計	40	(3)	32	(3)	32	(3)	28	(3)	26	(3)	27	(3)	24	(3)	24	(3)	24	(3)	24	(3)
4園合計		194	(14)	165	(13)	153	(12)	140	(12)	133	(12)	132	(12)	126	(12)	125	(12)	121	(12)	116	(12)

年度		R15 2033		R16 2034		R17 2035		R18 2036		R19 2037		R20 2038		R21 2039		R22 2040		R23 2041		R24 2042	
園児数（学級数）		園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級	園児	学級
矢吹 幼稚園	3歳児（年少）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)	5	(1)
	4歳児（年中）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)
	5歳児（年長）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)
	合計	21	(3)	21	(3)	21	(3)	20	(3)	18	(3)	18	(3)	18	(3)	17	(3)	15	(3)	15	(3)
中央 幼稚園	3歳児（年少）	16	(1)	16	(1)	15	(1)	14	(1)	14	(1)	13	(1)	13	(1)	12	(1)	12	(1)	11	(1)
	4歳児（年中）	16	(1)	16	(1)	15	(1)	15	(1)	14	(1)	14	(1)	13	(1)	13	(1)	12	(1)	11	(1)
	5歳児（年長）	16	(1)	16	(1)	15	(1)	15	(1)	14	(1)	14	(1)	13	(1)	13	(1)	12	(1)	11	(1)
	合計	48	(3)	48	(3)	45	(3)	44	(3)	42	(3)	41	(3)	39	(3)	38	(3)	36	(3)	33	(3)
中畑 幼稚園	3歳児（年少）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)	5	(1)
	4歳児（年中）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)
	5歳児（年長）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)
	合計	21	(3)	21	(3)	21	(3)	20	(3)	18	(3)	18	(3)	18	(3)	17	(3)	15	(3)	15	(3)
三神 幼稚園	3歳児（年少）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)	5	(1)
	4歳児（年中）	8	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)
	5歳児（年長）	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	7	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	6	(1)	5	(1)
	合計	22	(3)	21	(3)	21	(3)	21	(3)	20	(3)	18	(3)	18	(3)	18	(3)	17	(3)	15	(3)
4園合計		112	(12)	111	(12)	108	(12)	105	(12)	98	(12)	95	(12)	93	(12)	90	(12)	83	(12)	78	(12)

□：21人以上/学級
 ■：15～20人（21人未満）/学級
 ■：11～14人（15人未満）/学級
 ■：0～10人（11人未満）/学級

（３）再配置の進め方及び実施時期

上記を踏まえ、将来にわたり望ましい幼稚園規模を確保し続けるための再配置の進め方及び実施時期を検討しました。

まず、考える全ての町立幼稚園の再配置パターンを整理すると、下表のとおりとなります。このうち望ましい幼稚園規模を確保できるのは、矢吹、中畑、三神の３園を統合し中央は存続させて２園体制とするパターンと、４園を統合して１園体制とするパターンの２パターンのみとなりました。

【再配置パターン一覧】

将来の 幼稚園数	再配置の内容	想定される再配置の組み合わせ				20年後において1学級あたりの園児数を11人以上確保できるか	1学級あたり園児数11人を確保できない園
		矢吹幼稚園	中央幼稚園	中畑幼稚園	三神幼稚園		
4園	4園が現状のまま存続する	－	－	－	－	確保できない	矢吹、中畑、三神
3園	2園統合し、残る2園は現状のまま存続する	統合	統合	－	－	確保できない	中畑、三神
		統合	－	統合	－	確保できない	三神、矢吹＋中畑
		統合	－	－	統合	確保できない	中畑、矢吹＋三神
		－	統合	統合	－	確保できない	矢吹、三神
		－	統合	－	統合	確保できない	矢吹、中畑
		－	－	統合	統合	確保できない	矢吹、中畑＋三神
2園	2園ずつ統合する	統合	統合	統合	統合	確保できない	中畑＋三神
		統合	統合	統合	統合	確保できない	矢吹＋中畑
		統合	統合	統合	統合	確保できない	矢吹＋三神
	3園を統合し、1園はそのまま存続させる	統合	統合	統合	－	確保できない	三神
		統合	統合	－	統合	確保できない	中畑
		統合	－	統合	統合	確保できる	なし
		－	統合	統合	統合	確保できない	矢吹
1園	4園を1園に統合する	統合	統合	統合	統合	確保できる	なし

この2パターンのうち、4園を統合して1園体制とするパターンについては、段階的に統合を進める（パターンB）か、一度に統合するか（パターンC）で2パターンに分かれます。

これら計3パターンについて各パターンのメリット・デメリットを踏まえた結果、町立幼稚園の再配置は令和8年度以降に4園を1園に統合する（パターンC）ように進めることとします。

【想定される再配置パターンのメリット・デメリット等】

将来の 幼稚園数	想定される再配置パターン	メリット	デメリット	適正規模
2園	【パターンA】 令和8年度以降に矢吹、中畑、三神の3園を統合し、中央はそのまま存続させる	1園に統合する場合と比較すると、幼稚園を現在と近い地域に残すことができる可能性がある	統合しない中央においては、令和24年度時点ですべての学年の学級規模が11人となる見込みであり、令和25年度以降間もなく学級規模が11人を下回ると見込まれる	今後20年間は11人以上の学級規模を確保できる。しかし、統合しない中央においては令和25年度以降には11人規模を下回ると見込まれる
1園	【パターンB（段階的統合）】 令和8年度以降に矢吹、中畑、三神の3園を統合するさらに、令和19年度以降に中央を統合する	3園の全ての学年で学級規模が11人を下回る令和8年度以降と、中央の全ての学年で学級規模が11人を下回る令和19年度以降の2段階に分けて、園児数の減少状況に合わせた段階的な再配置を進めることができる	- 矢吹、中畑、三神の園児や保護者としては令和8年度以降と令和19年度以降の2回再配置が実施されることになるため負担が生じる 2回再配置を実施することにより園児や保護者に負担をかけるほどの意義や効果があるか不明である	今後20年間は11人以上の学級規模を確保できる。しかし、途中に2回再配置を行うこととなることから、長期的にみて園児や保護者の負担が大きくなると考えられる
	【パターンC（一括統合）】 令和8年度以降に4園を1園に統合する	再配置が令和8年度以降の1回で完了するため、長期的にみると子どもや保護者の負担を軽減できる	- 令和8年度では4園の全園児数が140人程度となることから、この人数規模の園児を収容できる園を検討する必要があるなど場所の制約が生じる - 統合当初は大規模な園となると見込まれるため、園児一人ひとりに目が行き届きづらくなる可能性がある	今後20年間は11人以上の学級規模を確保できる。ただし、園児一人ひとりに目が行き届くような職員配置を行うとともに、通園の長距離化等への対応を検討する必要がある



再配置の進め方及び実施時期・・・令和8年度以降に4園を1園に統合する

4. 再配置により設置する町立幼稚園の立地場所

(1) 候補地の条件

再配置により設置する町立幼稚園の候補地について、幼稚園設置基準に基づく面積基準を満たすことと、既存幼稚園用地等の公共用地であることの双方を満たすことを条件として選出しました。

① 幼稚園設置基準に基づく面積条件

再配置により設置する町立幼稚園の候補地は、その敷地面積について幼稚園設置基準が定める面積基準を満たすことを条件としました。

先述のとおり町立幼稚園の再配置は令和8年度以降に4園を1園に統合するように進めることから、仮に最短の令和8年度で統合を行うことを想定し、幼稚園設置基準に基づき必要な敷地面積を算出すると、園舎及び園庭を合計した敷地面積は、最低でも1,900 m²以上確保する必要があります。ただし、この面積は駐車場等の面積を含まないことから、実際にはより多くの敷地面積を確保する必要があります。

【幼稚園設置基準が定める面積基準】

分類	面積基準
園舎の面積	1 学級：180 m ² 2 学級以上：320+100（学級数－2） m ²
運動場の面積	2 学級以下：330+30（学級数－1） m ² 3 学級以上：400+80（学級数－3） m ²

出所：幼稚園設置基準（昭和31年文部省令第32号）

＜令和8年度の再配置を想定した場合の町立幼稚園の必要面積＞

- 令和8年度における町全体の園児数は、3歳児（年少）47人、4歳児（年中）44人、5歳児（年長）49人と推計されている
- 令和8年度で4園を1園に統合する場合、3学年とも3学級編成となることが想定されることから、再配置により設置する町立幼稚園の総学級数は9学級となると見込まれる
- したがって、上記の幼稚園設置基準に基づき、再配置により設置する町立幼稚園の必要面積を算出すると、1,900 m²となる

（園舎の必要面積：1,020 m² ＋ 園庭の必要面積：880 m² ＝ 計1,900 m²）

② 公共用地条件

再配置を実施する時期に確実に幼稚園用地を確保する必要があることから、候補地は民有地ではなく既存幼稚園用地等の公共用地であることを条件としました。

したがって、幼稚園設置基準に基づく面積基準を満たすことと、既存幼稚園用地等の公共用地であることを条件とすると、候補地は既存の4幼稚園用地及び旧総合運動公園用地が選出されました。

なお、旧総合運動公園用地は令和4年3月に策定した令和3年度旧総合運動公園用地内教育施設配置計画」にて施設配置案が検討されており、なかでもA案及びB案にて教育施設ゾーンを位置づけた施設配置案が検討されていたことから、旧総合運動公園用地A案及びB案を別個の候補地として選出しました。

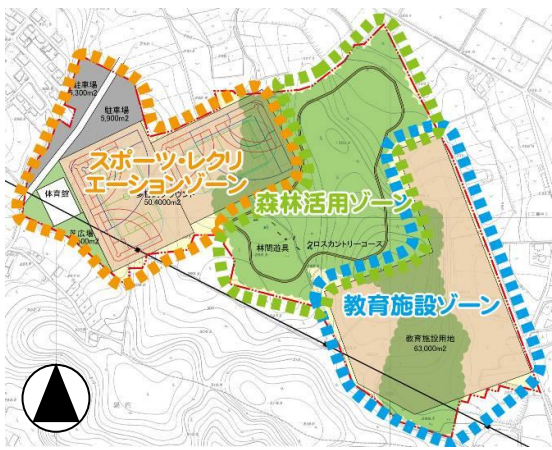
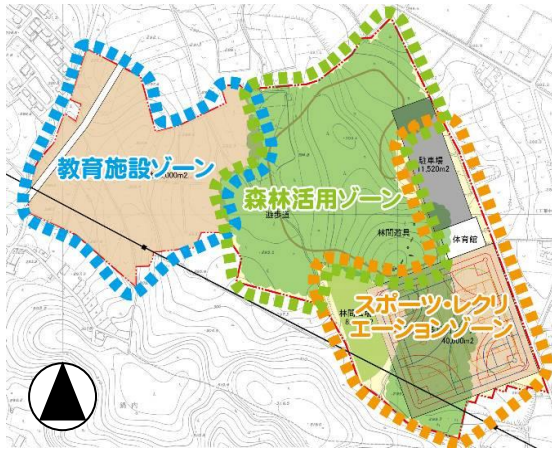
再配置により設置する町立幼稚園の候補地

・・・現在の4幼稚園用地及び旧総合運動公園用地A案及びB案

【旧総合運動公園用地】

写真③ 南平地区（北側から南方）



		A案：豊かな自然の中でスポーツ等の活動を通してみんなが元気になる施設	B案：自然を活かした遊びや学びを通して子どもたちの心身を育む施設
計画図			
配置の考え方		・多目的グラウンドなどの主要な施設は、アクセスの良い西側に配置 ・教育施設用地は、セキュリティ上、一般利用の施設と離して、森林の伐採を極力抑えるように東平地部に配置	・主要な施設となる教育施設用地は、森林がなくまとまった土地が確保できる西側に配置 ・一般利用の施設は、セキュリティ上、教育施設用地と離して東平地部に配置 ・東側は、駐車場を道路に面して配置した上で、森林の伐採を極力抑えるように多目的グラウンドを配置
導入施設	スポーツ	多目的グラウンド（野球場2面） 体育館 芝広場	多目的グラウンド（野球場2面） 体育館
	森林活用	林間遊具 クロスカントリーコース	遊歩道 林間遊具、林間広場
	教交体 育流験	教育施設用地	教育施設用地
導入を考慮される施設例		自然学習施設、休憩施設、サイクリングコース、自然探索コース、パークゴルフコース、パターゴルフ、ドックラン、BMXコース、合宿が行える宿泊施設等、文化施設、調整池、倉庫などの付属施設	
土工量		盛土量：98,000m ³ 切土量：372,000m ³ 残土量：274,000m ³	盛土量：116,000m ³ 切土量：291,000m ³ 残土量：175,000m ³
メリット		○集客施設へのアクセスが良い	○多目的グラウンドが変形ではなく整形であるため、様々な利用に対応できる
デメリット		●土地形状の変更が最も大きく、樹木伐採量も最も多い	●集客施設へのアクセスが悪くなる ●樹木伐採量が多い
期待される効果		スポーツ活動をメインとすることから町内、近隣市町村のスポーツの活性化および学校スポーツにおける利用。	林間施設による教育を実施することで子育て支援を行いながら自然とのふれあいを行うことが出来る。
検討課題		開発にともなう流量増対策については、調整池や流出量を軽減する対策などさまざまな検討課題があり、時点では調整池の規模などが示すことが出来ない。	

（２）候補地の比較評価の考え方

選出した候補地のうちいずれを立地場所とするかを比較評価により選定するため、比較評価の考え方を整理しました。

比較評価を行うための選定条件は、園の広さ、本町のまちづくりの方向性との整合、通園の負担など様々な観点から設定しました。なお、園の広さや通園に関する負担、周辺のみどりの豊かさ、被災リスクの少なさといった条件については、住民アンケート結果等を踏まえ重要な選定条件として位置付けており、特に被災リスクの少なさについては立地場所として不可欠な条件と設定しました。

選定条件を用いて候補地を定量的に比較・評価するため、下表のとおり候補地の状況を選定条件の評価項目ごとに点数化を行いました。なお、重要な選定条件については評価点を２倍するなど重みづけを行いました。

【候補地の選定条件】

【評価の内容】			
評価点の考え方		評価項目	
		・立地場所の選定条件として、下記の区分・評価項目を設定する ・評価項目ごとに「良い」とされるものについて、評価点を高く設定する（例：評価点【5点】） ・特に重要と思われる評価項目については、重み付けとして評価点に「×2.0」して評価する（例：評価点【5点】×2.0＝評価点10点）	
選定条件		評価項目	内容
①敷地条件	園の広さ	【重要：×2.0】 敷地面積	・仮にR8年度で統合を行った場合、総園児数140名程度で計9学級編制する必要がある。そこで、幼稚園設置基準に則れば園舎と園庭の敷地面積は約1,900㎡以上（園舎1,020㎡以上かつ園庭880㎡以上）必要であり、加えて駐車場の敷地面積として2,500㎡程度必要であると想定し、これを基準に考える ・【5点】6,000㎡以上（既存4幼稚園より規模が大きい）、【3点】4,500㎡以上6,000㎡、【1点】4,500㎡未満
②まちづくり	まちづくりの方向性との整合	第6次矢吹町まちづくり総合計画	・第6次矢吹町まちづくり総合計画と整合することを評価する ・【5点】総合計画の重点プロジェクト事業と関連する、【3点】総合計画の事務事業と関連する、【1点】総合計画の事務事業と関連しない
③通園環境	通園に関する負担	【重要：×2.0】 各園から候補地までの直線距離	・既存幼稚園各園から候補地までの直線距離の差を評価する ・【5点】差が小さい、【3点】中程度、【1点】差が大きい
④自然環境	周辺のみどりの豊かさ	【重要：×2.0】 農地などのみどり	・候補地周辺の自然環境の豊かさを評価する ・【5点】農地などのみどりが豊富である、【3点】農地などのみどりが一部存在する、【1点】農地などのみどりが少ない
⑤防犯・防災	非常事態・危険への備え	医療機関との距離	・候補地から最寄りの医療機関までの直線距離の近さを評価する ・【3点】1km以内、【2点】1～3km、【1点】3km以上
		警察署との距離	・候補地から最寄りの警察署（交番・駐在所）までの直線距離の近さを評価する ・【3点】1km以内、【2点】1～3km、【1点】3km以上
		消防署との距離	・候補地から最寄りの消防署までの直線距離の近さを評価する ・【3点】1km以内、【2点】1～3km、【1点】3km以上
	被災リスクの少なさ	【重要】 土砂災害・浸水被害想定	・矢吹町防災マップからみた土砂災害・浸水の被災リスクの低さを評価する ・【○】土砂災害・浸水いずれも被災想定区域外、【×】一方でも被災想定区域内　＜絶対条件＞
	交通の利便性	避難経路の確保	・非常時に子どもを引き渡すことを想定し、隣接する道路の幅の広さを評価する ・【3点】歩道のある片側1車線の道路、【2点】歩道のある道路、【1点】歩道のない道路
⑥子どもや保護者への影響	子どもの負担の少なさ	工事等の騒音・振動や移動等による負担	・幼稚園の整備に際して子どもへの負担が小さいことを評価する ・【5点】子どもへの負担がない、【3点】子どもへの負担軽減を図る必要がある（仮設園舎の利用）
	学校施設の集約化	中学校との距離	・候補地から矢吹中学校までの直線距離の近さを評価する ・【3点】1km以内、【2点】1～3km、【1点】3km以上
		高校との距離	・候補地から福島県立光南高等学校までの直線距離の近さを評価する ・【3点】1km以内、【2点】1～3km、【1点】3km以上
		大学との距離	・候補地から農業総合センター 農業短期大学校までの直線距離の近さを評価する ・【3点】1km以内、【2点】1～3km、【1点】3km以上
⑦整備事業	幼稚園の整備に係る期間を短く抑えられるか	建設スケジュール（造成工事）	・幼稚園の整備に係る事業期間の短さを評価する ・【3点】造成工事が無い、【1点】造成工事がある
		建設スケジュール（解体工事）	・幼稚園の整備に係る事業期間の短さを評価する ・【3点】既存建物の解体工事が無い、【1点】既存建物の解体工事がある

（３）立地場所の選定

候補地６案を選定条件に則り評点化し定量的に比較評価を行い、さらに検討委員会の現地視察を行った結果、**旧総合運動公園用地B案を立地場所として選定**しました。（次ページ参照）

【候補地の比較評価結果】

		矢吹幼稚園		中央幼稚園		中畑幼稚園		三神幼稚園		旧総合運動公園用地 A案		旧総合運動公園用地 B案		
														
選定条件、評価点数及び重みづけ		満点	大町184-10	点数	一本木85-1	点数	根宿520-1	点数	神田西130-1	点数	寺内西（仮）	点数	鍋内（仮）	点数
総合評価		67	矢吹幼稚園用地での建替え。医療機関や交番との距離が近いなどのメリットがあるが、三神地域からの距離が離れており通園負担の差が大きく、敷地面積が限定的である。	37	中央幼稚園用地での改修。町の中央部に近いため各地域からの通園負担の差が比較的に小さく、建替えではなく既存園舎の改修が可能であるため費用や期間を少なく抑えられるなどのメリットがあるが、敷地面積が限定的である。	42	中畑幼稚園用地での建替え。町の中央部に近いため各地域からの通園負担の差が比較的に小さいなどのメリットがあるが、敷地面積が限定的である。	43	三神幼稚園用地での建替え。矢吹地域からの距離が離れており通園負担の差が大きく、医療機関・警察署・消防署・中学校等との距離が離れている。	29	旧総合運動公園用地の東側での新規整備（A案）。開発・整備に費用・期間を要するものの、統合による園の規模拡大に対応可能な大規模な敷地面積、町の中央部に近いため各地域からの通園負担の差が比較的に小さいこと、豊富なみどりなどのメリットがある。	56	旧総合運動公園用地の西側での新規整備（B案）。A案の特徴に加え、さらに医療機関・警察署・消防署・中学校等との距離が近くなり、隣接する道路も広く歩道が整備されているというメリットがある。	62
①敷地条件	【重要：×2.0】敷地面積	5	【1点】：4,326㎡	1	【1点】：4,396㎡	1	【3点】：5,412㎡	3	【1点】：4,120㎡	1	【5点】：63,000㎡	5	【5点】：63,000㎡	5
評価値		10		2		2		6		2		10		10
②まちづくり	第6次矢吹町まちづくり総合計画	5	【5点】デジタル田園タウン構想事業と関連する	5	【5点】デジタル田園タウン構想事業と関連する	5	【5点】デジタル田園タウン構想事業と関連する	5	【5点】デジタル田園タウン構想事業と関連する	5	【5点】デジタル田園タウン構想事業と関連する	5	【5点】デジタル田園タウン構想事業と関連する	5
評価値		5		5		5		5		5		5		5
③通園環境	【重要：×2.0】各園から候補地までの直線距離	5	【1点】：最も近い園と最も遠い園の差は5.6km 候補地から最も近い園は自園（0km） 候補地から最も遠い三神幼稚園まで5.6km	1	【3点】：最も近い園と最も遠い園の差は4.3km 候補地から最も近い園は自園（0km） 候補地から最も遠い三神幼稚園まで4.3km	3	【3点】：最も近い園と最も遠い園の差は4.2km 候補地から最も近い園は自園（0km） 候補地から最も遠い三神幼稚園まで4.2km	3	【1点】：最も近い園と最も遠い園の差は5.6km 候補地から最も近い園は自園（0km） 候補地から最も遠い矢吹幼稚園まで5.6km	1	【5点】：最も近い園と最も遠い園の差は2.4km 候補地から最も近い中畑幼稚園まで1.2km 候補地から最も遠い矢吹幼稚園まで3.6km	5	【5点】：最も近い園と最も遠い園の差は2.1km 候補地から最も近い中畑幼稚園まで1.3km 候補地から最も遠い三神幼稚園まで3.4km	5
評価値		10		2		6		6		2		10		10
④自然環境	【重要：×2.0】農地などのみどり	5	【3点】：農地などのみどりが一部存在する	3	【3点】：農地などのみどりが一部存在する	3	【3点】：農地などのみどりが一部存在する	3	【3点】：農地などのみどりが一部存在する	3	【5点】：農地などのみどりが豊富である	5	【5点】：農地などのみどりが豊富である	5
評価値		10		6		6		6		6		10		10
⑤防犯・防災	医療機関との距離	3	【3点】：0.9km (会田病院)	3	【2点】：1.1km (会田病院)	2	【3点】：1.0km (樋口小児クリニック)	3	【1点】：4.1km (樋口小児クリニック)	1	【2点】：1.1km (樋口小児クリニック)	2	【3点】：0.7km (樋口小児クリニック)	3
	警察署との距離	3	【3点】：0.5km (白河警察署矢吹交番)	3	【2点】：1.1km (白河警察署矢吹交番)	2	【1点】：3.9km (白河警察署矢吹交番)	1	【1点】：5.3km (白河警察署矢吹交番)	1	【1点】：3.6km (白河警察署矢吹交番)	1	【2点】：3.0km (白河警察署矢吹交番)	2
	消防署との距離	3	【2点】：2.9km (白河地方広域市町村圏矢吹消防署)	2	【2点】：2.0km (白河地方広域市町村圏矢吹消防署)	2	【2点】：1.2km (白河地方広域市町村圏矢吹消防署)	2	【1点】：3.5km (白河地方広域市町村圏矢吹消防署)	1	【3点】：0.7km (白河地方広域市町村圏矢吹消防署)	3	【3点】：0.1km (白河地方広域市町村圏矢吹消防署)	3
	【重要】土砂災害・浸水被害想定	－	【○】：土砂災害・浸水いずれも被災想定区域外	－	【○】：土砂災害・浸水いずれも被災想定区域外	－	【○】：土砂災害・浸水いずれも被災想定区域外	－	【○】：土砂災害・浸水いずれも被災想定区域外	－	【○】：土砂災害・浸水いずれも被災想定区域外	－	【○】：土砂災害・浸水いずれも被災想定区域外	－
	避難経路の確保	3	【1点】歩道のない道路	1	【1点】歩道のない道路	1	【1点】歩道のない道路	1	【1点】歩道のない道路	1	【1点】歩道のない道路	1	【3点】歩道のある片側1車線の道路	3
評価値		12		9		7		7		4		7		11
⑥子どもや保護者への影響	工事等の騒音・振動や移動等による負担	5	【3点】：子どもへの負担軽減を図る必要がある (この候補地に建設する場合、仮設園舎を設置する必要が生じる)	3	【3点】：子どもへの負担軽減を図る必要がある (この候補地に建設する場合、仮設園舎を設置する必要が生じる)	3	【3点】：子どもへの負担軽減を図る必要がある (この候補地に建設する場合、仮設園舎を設置する必要が生じる)	3	【3点】：子どもへの負担軽減を図る必要がある (この候補地に建設する場合、仮設園舎を設置する必要が生じる)	3	【5点】子どもへの負担がない (この候補地に建設する場合、仮設園舎を設置する必要が生じない)	5	【5点】子どもへの負担がない (この候補地に建設する場合、仮設園舎を設置する必要が生じない)	5
	中学校との距離	3	【2点】：2.2km(矢吹中学校)	2	【2点】：1.3km(矢吹中学校)	2	【2点】：1.8km(矢吹中学校)	2	【1点】：3.8km(矢吹中学校)	1	【2点】：1.3km(矢吹中学校)	2	【3点】：0.7km(矢吹中学校)	3
	高校との距離	3	【2点】：1.9km(光南高校)	2	【2点】：2.5km(光南高校)	2	【2点】：2.8km(光南高校)	2	【1点】：6.0km(光南高校)	1	【1点】：3.2km(光南高校)	1	【2点】：2.7km(光南高校)	2
	大学との距離	3	【2点】：1.8km (農業総合センター 農業短期大学校)	2	【3点】：0.6km (農業総合センター 農業短期大学校)	3	【2点】：2.6km (農業総合センター 農業短期大学校)	2	【1点】：3.8km (農業総合センター 農業短期大学校)	1	【2点】：1.9km (農業総合センター 農業短期大学校)	2	【2点】：1.4km (農業総合センター 農業短期大学校)	2
評価値		14		9		10		9		6		10		12
⑦整備事業	建設スケジュール（造成工事）	3	【3点】造成工事が無い	3	【3点】造成工事が無い	3	【3点】造成工事が無い	3	【3点】造成工事が無い	3	【1点】造成工事がある	1	【1点】造成工事がある	1
	建設スケジュール（解体工事）	3	【1点】既存建物の解体工事がある	1	【3点】既存建物の解体工事が無い (既存建物の改修工事はある)	3	【1点】既存建物の解体工事がある	1	【1点】既存建物の解体工事がある	1	【3点】既存建物の解体工事が無い	3	【3点】既存建物の解体工事が無い	3
評価値		6		4		6		4		4		4		4

5. その他検討事項

(1) 町立幼稚園に期待されている教育内容

幼児期は、こどもたちの人格形成や学習の基盤を築く重要な時期であります。時代の変化に対応し、幼稚園が提供する学びにより、こどもたちが未来に向けて自信を持って歩いていけるよう支援するため、アンケートにおけるニーズを調査し、特に次に挙げる5項目を検討してまいります。

① 子どもの心身の健康促進

健康的な生活習慣の育成や運動・体操など体を使った遊びの充実や科学的根拠に基づいた脳育等を展開するなど、心身の健康を重視したプログラム導入

② 社会性の育成

協力やコミュニケーション能力を伸ばすための課外活動や、他者への思いやりや感謝の気持ちを育む取り組みの導入

③ 環境教育

自然や地域の特徴を活かした学びや、リサイクル活動などの環境に配慮した取り組みの導入

④ 言葉の使い方、言語理解の養成

お友達との会話やコミュニケーションにより正しい言葉の使い方を習得し、「伝える力」、「理解する力」を育てるための取り組み

⑤ 創造性と表現力の養成

絵画や音楽、ダンスなどの表現活動や、自由な発想を促す遊びを通じた創造性の育成

児童、学生を対象としたアンケート結果における遊びを通じた学習や課外活動により、学習に触れる楽しさや興味関心を高める幼稚園の実現を検討事項としました。特に「みんなと」「お友達と」と記載されたアンケート意見が多数あったことから、望ましい幼稚園規模に基づく教育活動を検討します。

「自己決定できる力」、「相手の立場に立てる力」、「やり抜く力」を矢吹町の幼稚園教育・小中学校教育の方向性として考えております。めざす子どもの姿を明確にし、主体的に生きる心豊かな人間の育成ができるよう教育内容も含めて、ワーキンググループや検討委員会を開催し検討してまいります。

(2) 運営形態

これまで、本町では、共働き世帯の増加、就労形態の多様化及び地域の相互扶助機能の低下などによる保育に対するニーズの増大・多様化や公立施設の建設・改修に係る国庫補助の廃止などによる財政的問題といった状況を踏まえ、幼児教育・保育の提供に関して民間が対応できる部分については「民間でできることは民間で」という考えに沿い、積極的に役割を移譲し民間活力を導入（公立保育園を民営化）してきました。他方、幼稚園については公設公営としており、幼稚園は町が、保育園・認定こども園は民間事業者がそれぞれ運営を行う形となっています。

<公立保育園 2 園の民営化>

- 1 つの公立保育園（現・矢吹町ひかり保育園）を平成 20 年度（平成 20・21 年度：民間委託、平成 22 年度から民営化）より民営化
- もう 1 つの公立保育園（旧・矢吹町立あさひ保育園）についても平成 25 年度より民営化を進め、令和元年度には認定こども園野のはなとして運営を開始

<私立幼稚園の認定こども園化>

- 私立園である聖和幼稚園が平成 22 年には認定こども園ポプラの木として運営を開始

このような経緯を踏まえつつ、幼稚園とする場合と認定こども園とする場合のメリット・デメリット等を勘案した結果、再配置により設置する園の運営形態については、町立幼稚園としました。なお、運営形態としては保育園もありますが、町として学校教育法に基づく幼児教育を提供する必要があることから検討の対象外としました。

【幼稚園とする場合と認定こども園とする場合のメリット・デメリット等】

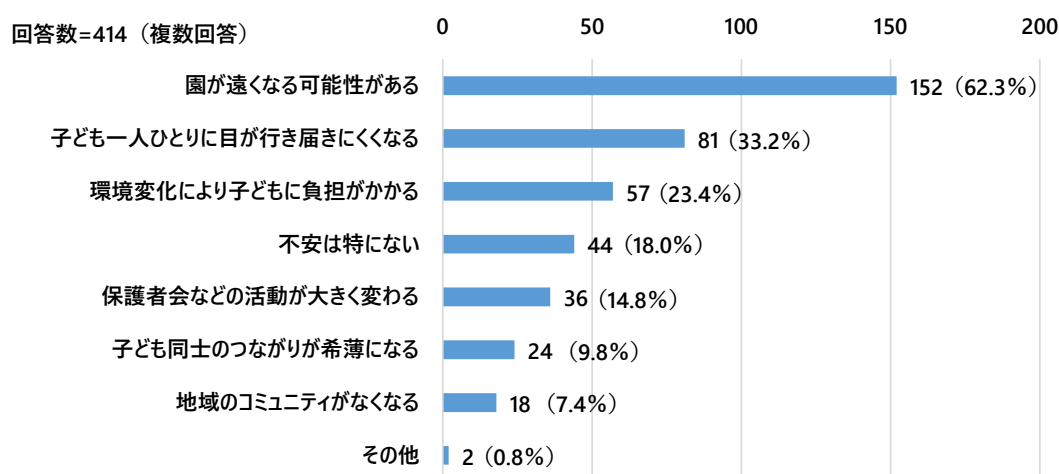
幼稚園とする場合	認定こども園とする場合
◎幼稚園とは、文部科学省が所管し、学校教育法に基づいた学校と位置づけられ、「幼児を教育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」を目的とし、施設での教育と家庭での子育てがバランスよく行える。 ○再配置前と同様の、幼児教育を提供できる ○再配置前と同様に、幼稚園は町、保育園・認定こども園は民間事業者という住み分けがなされる ○再配置前と同様に、「幼稚園教諭」の資格を有する教職員等をそのまま配置できる。 ○必要な諸室機能も現行の幼稚園と基本的に変わらない △0～2歳児は利用できない。 △認定こども園と比べると幅広い年齢の子どもたちと交流する機会が少ない △2歳以下と3歳以上のきょうだいなど、同じ園に通うことができない場合は2か所に送迎することとなる	◎認定こども園とは、主に内閣府が所管し、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づき、幼稚園及び保育所等における小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を総合的に提供する施設であり、保護者の就労の有無に関わらず、同じ施設に子どもを預けることができる。 ○0～5歳まで一体的に教育・保育を提供できる ○幼稚園よりも幅広い年齢の子どもたちと交流する機会が増える ○2歳以下と3歳以上のきょうだいと同じ園に通うことができるので送迎が1か所済む △既存民間事業者の経営に影響を及ぼす可能性がある △「幼稚園教諭」及び「保育士」の両方の資格を有する「保育教諭」を新たに確保・配置する必要がある △乳児室又はほふく室、保育室又は遊戯室等の乳児に関する設備を配置する必要がある △給食室を配置する必要がある（園内設置が義務） ※<u>私立</u>の認定こども園は国からの財政支援が得られる

(3) 通園の長距離化への対応

保護者アンケートやワークショップでは、保護者から園が遠くなることで通園の負担が大きくなることを懸念する声が多く聞かれます。旧総合運動公園用地は町の中心部に位置するため、町のどの地域からも通園しやすい場所となっているものの、再配置によって通園距離は現在より長距離化する可能性があります。

したがって、通園支援については保護者のニーズを勘案しつつ、今後検討を行うこととします。

【町立幼稚園の再配置に関して不安に感じる点】



出所：令和5年度保護者アンケート結果（設問3）

(4) 小学校の適正規模・適正配置

地域とともにある学校づくりの促進及び将来を見据えた魅力ある教育環境の充実の検討を図り、十分な教育効果が得られる小学校の適正規模及び適正配置について保護者、地域の方、児童生徒の意見を伺いながら、丁寧な説明、意見交換を進め、課題等の整理を図ります。

6. 計画の推進に向けて

委員会からの答申に基づき旧総合運動公園用地へ令和8年度以降に4園を1園に統合した園舎を整備することを位置づけたが、今後も再配置を着実に進めるため、次の事項について「こどもまんなか」の視点に立ち関係者とのコミュニケーションを密に取りながら柔軟かつ確実な対応によって引き続き検討を重ね、「仮称 矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置実施計画」の策定に努めます。

<今後検討が必要な事項>

- 再配置により設置する町立幼稚園の施設配置・諸室機能等ハードに関する事項
こどもたちの適切な育ち、学びを支援するために快適に過ごせる施設の最適化や安全な遊び場、屋外スペースの確保、導入する教育設備を検討します。
- こども、保護者及び地域住民の意見を踏まえた特色ある幼稚園の実現に向けて
保護者からの意見やこどもたちの思いを参考に、まちの将来を担うこどもたちが物事に興味関心を抱き好奇心を高め、思考や探求を深めていこうとする学びのベースをつくる幼稚園づくりについて検討します。
- 通園支援の有無及び方法
園の統合により、町内全域から統合された園への通園が集中することにより懸念される課題への対策を検討します。
- 適正な教職員の配置
こども一人ひとりに目が行き届くよう、十分なケアと指導を行えるよう、適切な人員数と専門性を考慮した研修やサポート体制を検討してまいります。
- 町立小学校の適正規模・適正配置
町立幼稚園の適正規模・適正配置と町内の保育施設等を総合的に勘案し、幼保・小・中の円滑な接続について検討します。

7. 参考資料

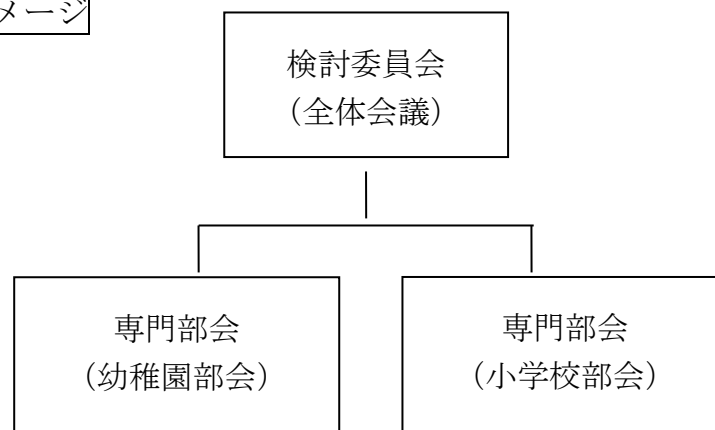
(1) 検討委員会の構成及び開催概要

1 会議構成について

会議の構成は、検討員会（全体会議）を基本とし、その下部組織として2つの専門部会を持つこととし、部会ごとに集中的に協議検討を図る。

（＊設置要綱第7条）

会議構成イメージ



2 委員の構成と役割について

委員の構成とそれぞれの役割については次のとおり提案します。

委員枠	人数	全体 会議	幼稚園 部会	小学校 部会	その他
学識経験者	1名	○	○	○	○
幼稚園の保護者代表	4名	○	○		○
小学校の保護者代表	4名	○		○	○
各幼稚園長	4名	○	○		○
各小学校長	4名	○		○	○
各小学校区の 行政区代表	4名	○	○	○	
その他教育長が 必要と認める者	2名	○	○	○	

矢吹町学校規模適正化検討委員会 委員名簿

委員枠	人数	職 名	氏 名
学識経験者	1 名	福島大学人間発達文化学類 准教授	植田 啓嗣
幼稚園の 保護者代表	4 名	矢吹幼稚園 PTA 副会長	平賀 和幸
		中央幼稚園 PTA 会長	蛭原 勝也
		中畑幼稚園 PTA 会長	國分 卓周
		三神幼稚園 PTA 会長	浅川 美洋
小学校の 保護者代表	4 名	矢吹小学校 PTA 会長	本宮 正人
		善郷小学校 PTA 副会長	根本 嘉一
		中畑小学校 PTA 副会長	高久 力
		三神小学校 PTA 会長	加藤 晋一
各幼稚園長	4 名	矢吹幼稚園長	佐藤 宏道
		中央幼稚園長	柏村 久仁子
		中畑幼稚園長	菅野 朱美
		三神幼稚園長	道又 恵理子
各小学校長	4 名	矢吹小学校長	深谷 麻紀
		善郷小学校長	高木 徹
		中畑小学校長	渡部 由美子
		三神小学校長	東城 正充
各小学校区の 行政区代表	4 名	矢吹町区長会 会 長	芳賀 光男
		矢吹町区長会 副会長	大野 康統
		矢吹町区長会 副会長	青木 元博
		矢吹町区長会 副会長	小針 正喜
その他教育長が 必要と認める者	2 名	町議会議員（総務教育常任委員長）	芳賀 慎也
		子ども子育て会議会長 (学校法人聖和学園理事長)	岡村 宣

事 務 局 名 簿

教育振興課	職 名	氏 名	子育て支援課	職 名	氏 名
	課 長	佐藤 豊		課長	小椋 勲
	副課長兼指導主事	豊島 美喜子		子育て支援係長	野木 陽子
	学校教育係長	加藤 康子		副主査	馬場 利喜
	主査	渡邊 修治			

[会議等スケジュール]

令和6年3月時点

時 期		内 容
令和 5 年	6 月 13 日	第 1 回全体会議（諮問）
	6 月 20 日 ～ 7 月 3 日	保護者アンケート調査
	7 月 19 日	第 1 回幼稚園専門部会
	8 月 28 日	第 2 回幼稚園専門部会
	10 月 12 日	「たまかわクックの森」への施設見学及び 第 3 回幼稚園専門部会
	11 月 7 日	第 4 回幼稚園専門部会
	12 月 8 日	旧総合運動公園用地への現地視察
	12 月 14 日	第 2 回全体会議
令和 6 年	1 月 26 日 ～ 2 月 8 日	町立幼稚園 4 園における地区別説明会
	3 月 21 日	第 3 回全体会議（答申）

(2) 諮問書

5 教 第 2 4 2 号
令和 5 年 6 月 1 3 日

矢吹町学校規模適正化検討委員会会長 様

矢吹町教育委員会教育長 大杉 和規

諮 問 書

矢吹町学校規模適正化検討委員会設置要綱第2条の規定に基づき、下記事項を諮問いたします。

記

1. 諮問事項

- (1) 基本方針に基づく幼稚園の適正規模・適正配置について
- (2) 幼稚園の適正規模・適正配置により充実を期待する教育内容について
- (3) その他幼稚園の適正規模・適正配置を検討するために必要な事項

2. 諮問理由

全国的に進行している少子化の現状を踏まえ、矢吹町教育委員会では望ましい学校教育環境の整備に取り組むため、令和4年度に矢吹町学校規模適正化検討委員会を設置し、幼稚園のより良い教育環境の整備及び充実した幼児教育の実現に資するため「町立幼稚園の適正な規模及び配置のあり方」について諮問しました。

保護者や地域住民の意見も踏まえ、学識経験者、幼稚園・小学校の保護者、幼稚園長・小学校長、行政区長等の委員により審議いただき令和5年2月に答申を受け、この答申に基づき令和5年4月に「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置の基本方針」を策定しました。

以上のような経緯を踏まえ、町立幼稚園の適正規模・適正配置の具体的な施策を示す「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置計画」を策定するため、矢吹町学校規模適正化検討委員会に諮問するものです。

(3) 答申書

答 申 書

令和6年3月21日

矢吹町教育委員会

教育長 大杉 和規 様

矢吹町学校規模適正化検討委員会

会長

植田 啓嗣

基本方針に基づく幼稚園の適正規模・適正配置等について（答申）

令和5年6月13日付けで貴職より諮問のありました、基本方針に基づく幼稚園の適正規模・適正配置等について、当委員会として慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり答申します。

【答申事項】

- (1) 基本方針に基づく幼稚園の適正規模・適正配置について
- (2) 幼稚園の適正規模・適正配置により充実を期待する教育内容について
- (3) その他幼稚園の適正規模・適正配置を検討するために必要な事項

はじめに

全国的に進行している少子化の現状を踏まえ、矢吹町教育委員会では望ましい学校教育環境の整備に取り組むため、令和4年10月に学識経験者、幼稚園・小学校の保護者、幼稚園長・小学校長、行政区長等の委員からなる矢吹町学校規模適正化検討委員会が設置されました。令和5年2月に、「町立幼稚園の適正な規模及び配置のあり方」に関する答申を行い、令和5年4月には、「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置の基本方針」（以下「基本方針」という。）が策定されました。

令和5年度には、基本方針を基に具体的な施策を示す「矢吹町立幼稚園の適正規模・適正配置計画」（以下「適正規模・適正配置計画」という。）の策定に必要な3つの項目について矢吹町教育委員会から諮問を受け、保護者アンケートや地区別説明会、先進地園や候補地の視察等を行いながら、今後の幼児教育にふさわしい環境の整備に向けて協議を重ねてまいりました。令和5年12月には中間報告を行い、その後、実施した2回目の地区別説明会で得られた意見等を再度検討し、以下のとおり答申としてまとめました。

答申内容

（1）基本方針に基づく幼稚園の適正規模・適正配置計画について

①再配置で目指す幼稚園数と実施時期

令和5年4月に策定した基本方針では、幼稚園において今後も充実した幼児教育を実現するためには、各学級において集団での遊びや学びが経験できるよう、20人程度の園児数を有する学級が編制できるような幼稚園規模を目指し、幼稚園の再配置を進めることとされています。

この点、令和5年4月時点で中央幼稚園を除き矢吹幼稚園、中畑幼稚園、三神幼稚園では概ね1学級あたりの園児数が20人を下回っており、今後も各園において園児数の減少が続くと推計されています。令和8年度には、矢吹幼稚園、中畑幼稚園、三神幼稚園の全ての学年において1学級あたりの園児数が11人未満になると見込まれており、幼児教育にとって望ましくない環境となることが懸念されます。

このような見通しを踏まえると、少なくとも今後20年間は1学級あたりの園児数を11人以上確保するためには、

- ①「令和8年度以降に矢吹幼稚園、中畑幼稚園、三神幼稚園の3園を統合し、中央幼稚園はそのまま存続させる」
- ②「令和8年度以降に矢吹幼稚園、中畑幼稚園、三神幼稚園の3園を統合し、さらに令和19年度以降に中央幼稚園を統合する（段階的統合）」
- ③「令和8年度以降に4園を1園に統合する（一括統合）」

という3つのパターンを想定し、協議を行いました。

そのうえで、望ましい学級規模の確保や、複数回の統合による園児や保護者の負担などを踏まえると「令和8年度以降に4園を1園に統合する（一括統合）」パターンが望ましいと考えられるため、これを基本として具体的な再配置を検討しました。

②幼稚園の立地場所の選定

幼稚園を再配置するにあたっては、どのような場所に幼稚園を立地するかが重要と考えました。まず、候補地の条件としては、幼稚園設置基準に定められている面積基準を満たすことが必要となることから、想定される園児数及び学級数から敷地面積を1,900㎡以上確保可能であることが求められます。ただし、これは園舎と園庭のみを対象とした面積基準であり、駐車場面積等を含めるとさらに2,500㎡程度必要になると考えられます。次に、民有地は用地取得の交渉・調整に長期間を要し、全地権者の同意を得られなければ事業を進められないリスクも想定されることから、既存幼稚園用地及び未利用地等の公共用地が候補地として適切であると考えました。

この2点を踏まえると、幼稚園の候補地は、矢吹幼稚園用地、中央幼稚園用地、中畑幼稚園用地、三神幼稚園用地、また、未利用地等の公共用地として旧総合運動公園用地を想定しました。なお、旧総合運動公園用地は別途「令和3年度旧総合運動公園用地内教育施設配置計画」にて施設配置案が検討されており、教育施設を東側に配置する案をA案、教育施設を西側に配置する案をB案としていることから、両案とも候補地として考えました。

以上の候補地6案の中から幼稚園の立地場所を選定するには、各候補地を一定の条件（選定条件）により定量的に比較評価することが必要であり、選定条件は、検討委員会での委員の意見や住民アンケートの結果を踏まえ、様々な観点から設定しました。具体的には、①敷地条件（園の広さ）、②まちづくり（まちづくりの方向性との整合）、③通園環境（通園に関する負担）、④自然環境（周辺のみどりの豊かさ）、⑤防犯・防災（非常事態・危険への備え、被災リスクの少なさ、交通の利便性）、⑥子どもや保護者への影響（子どもの負担の少なさ、学校施設の集約化）、⑦整備事業（幼稚園の整備に係る期間を短く抑えられるか）を条件として、それぞれに評価点を設定し、特に重要な評価項目には重みづけ（評価点を2倍）を行い、評価しました。

候補地6案を選定条件に則り評点化し、定量的な比較評価を行うとともに、現地視察を行った結果、基本方針に示した幼児教育にふさわしい環境や幼稚園規模、適正な施設配置の実現が可能な場所として、旧総合運動公園用地B案がふさわしいと考えます。

（2）幼稚園の適正規模・適正配置により充実を期待する教育内容について

町では矢吹町教育大綱に基づき「緑豊かな大地に主体的に生きる心豊かな人間の育成」を理念として、子どもたち一人一人に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むことを目指して教育施策が推進されています。また、保護者からは住民アンケート等を通じて「集団での遊びや活気ある行事を通じて、社会性や協調性、感受性を育てほしい」といった意見が出されました。

これらのことから、再配置により設置する幼稚園では、子どもたちが他者との関わりのなかで主体的に自分を発揮し、心身ともに健全に育ち学ぶことのできるような幼児教育が充実されることを望みます。

さらに、子どもが主体的・自律的に自己決定する権利を尊重することを前提としたうえで、相手の立場に立って考えたり、物事をやり抜くことの重要性について気付きを与えられるような幼児教育が実現されることを望みます。

また、「新しい園舎・広々とした園庭でのびのびと遊んでほしい」「広い敷地を活かして地域住民・高齢者・小中学生など様々な人と幅広く交流できるようにしてほしい」「自由に絵本が読めたり、読み聞かせができるような図書スペースを整備してほしい」「病児、病後児、体調不良児に対応するための保健室と看護師を配置してほしい」「食育の推進のための調理室を設置してほしい」といった意見も多く見受けられていることから、再配置により設置する園の施設配置・諸室機能等を活かした教育内容を検討するうえで参考にされることを望みます。

上記に加え、適正規模・適正配置計画を策定する際には、ワークショップやアンケートの実施により集約された保護者や地域住民の皆様の意見を勘案することが必要と考えます。

(3) その他幼稚園の適正規模・適正配置計画を検討するために必要な事項

①再配置する園の運営形態

これまで、町では幼児教育・保育の提供に関して積極的に民間活力を導入し、公立保育園の民営化等を行ってきました。

この経緯を踏まえ、再配置により設置する園の運営形態について、幼稚園と認定こども園のどちらが適するか、それぞれのメリット・デメリット等を勘案しながら審議してまいりました。総合的に判断した結果、小学校教育との接続や職員配置などの観点から、運営形態は町立幼稚園がふさわしいと考えます。

加えて、保育時間の延長などのサービス拡充を望む意見もあることから、人員配置の項目とあわせて検討してください。

②町立小学校の適正規模・適正配置

町立幼稚園の再配置により4つの幼稚園が1園になるにもかかわらず、小学校進学の際に再び4小学校に分かれるということは少なからず児童に負担感を生じさせるため、町立小学校の適正規模・適正配置についてもあわせて検討を進めてください。

また、小学校の適正規模・適正配置には、再配置する町立幼稚園に加えて、保育園・認定こども園・中学校等との連携、接続も重視する必要があることから、関係機関との協議を行ってください。

③人員配置

町立幼稚園の再配置後には、1学級あたりの園児数が20人程度となることから、園児一人ひとりに目が行き届くように担任のほかに副担任や支援員を配置するなど教職員の配置を検討してください。

また、子どもの体調不良に対応するため、看護師等の専門人材の配置を望む意見も寄せられていることから、教職員の配置とあわせて検討を進めてください。

④その他

再配置により設置する町立幼稚園の施設配置・諸室機能等のハード面に関する事項、通園支援の有無及び方法等については、今後再配置に関する具体的な検討を進めるなかであわせて検討が行われることを望みます。

さらに、再配置される町立幼稚園での、子どもと保護者、地域住民など様々な人の交流を活かした、保護者同士の交流の場の提供や、地域住民とともに活動できる機会の創出を望みます。

おわりに

当委員会では、「子どもたちにとって何が望ましいか」という視点に立ち、議論を行ってきました。幼稚園の再配置により、地域によっては幼稚園が遠くなることで地域のつながりが薄れることや保護者の負担が増える等の不安の声も考えられますが、そうした不安を受け止めながら、幼稚園のより良い教育環境の整備及び充実した幼児教育の実現という目的のため、答申をまとめました。

今後も幼稚園の再配置を推進するにあたっては、保護者や地域住民との意思疎通を図りながら検討することを望みます。

（４）ワークショップ結果

■ワーク１ 「町の子育て支援策について」

基本的な支援策、主に経済面（児童手当、医療費、給食費副食費助成、出産祝金）は充実しているという良い意見がある反面、他市町村と差別化できるような町独自の支援策が少ないとの意見もありました。父親を対象とした支援、子育てに必要な物品（オムツ提供、チャイルドシート等のレンタル、服のリサイクルなど）の支援があれば良いという意見や、急に児童を預けなければならない時にも対応できるようにしてほしいとの意見がありました。

交流の場や楽しい場所については、未来くるやぶきのイベントが充実していることや認定こども園の子育て支援室の利用面で良いという意見のある一方で、児童の遊べる場所がまとまっておらず、場所の有効活用がされていないという意見や、親子で参加できるイベント、同じ子育て世代や多世代と気軽に交流・相談できる機会があれば良いとの意見がありました。

子育て支援に関する情報については、情報に対するアンテナを高くした場合だけ情報を得ることができる現状であるとの意見があり、LINE や SNS での情報発信、子育てアプリの内容の充実を希望する意見がありました。

<今後検討していくこと>

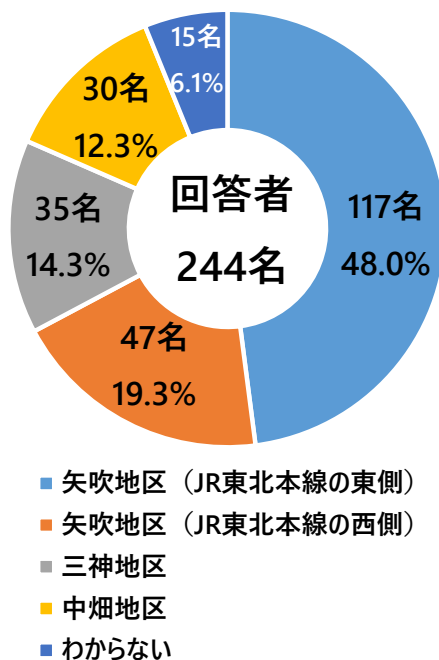
カテゴリー	行政	協働
子育て支援策	・子育て世代に寄り添った育児関連物品の支援について ・預かり保育制度の理解及び利用普及について ・予防接種助成拡充について	・使わなくなった育児関連物品の提供 ・父親を対象とした子育て支援策はどのようなものがあるか意見をもらいながら考える ・子どもの居場所（子ども食堂など）さらなる拡充を進める
交流・相談の場	・子育て関連施設での相談体制の充実化について ・子ども家庭総合支援拠点の整備	・同世代の子育て世代や地域のお年寄りとの触れ合いの機会づくり ・子育てサークル活動による交流の場づくり
情報発信	・子育て支援情報誌の定期送付について ・LINE や SNS を活用した、目に留まる情報発信の方法について	・ワークショップやアンケート調査への積極的な参加

※ワークショップに参加していない方にも読みやすいよう、一部表現の修正や内容の補足をしています。

(5) 保護者アンケート結果

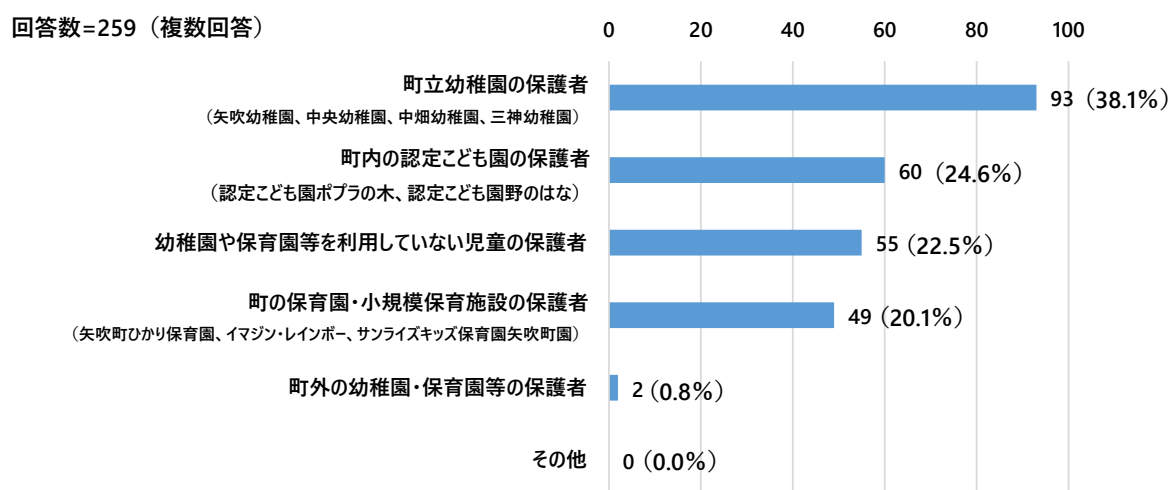
設問 1

お住まいの地域はどの地区ですか（1つ選択）



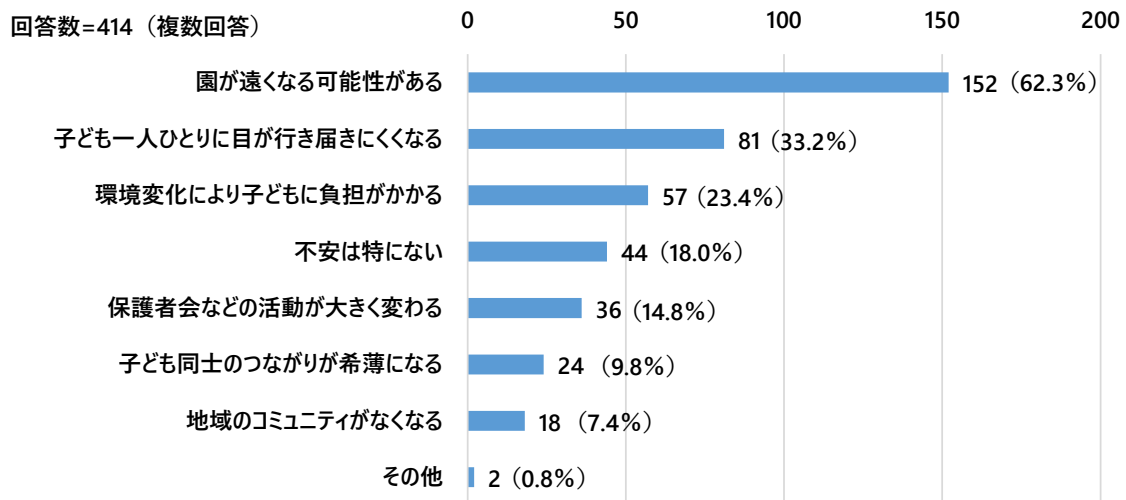
設問 2

あなたのお立場について教えてください（当てはまるものを選択）

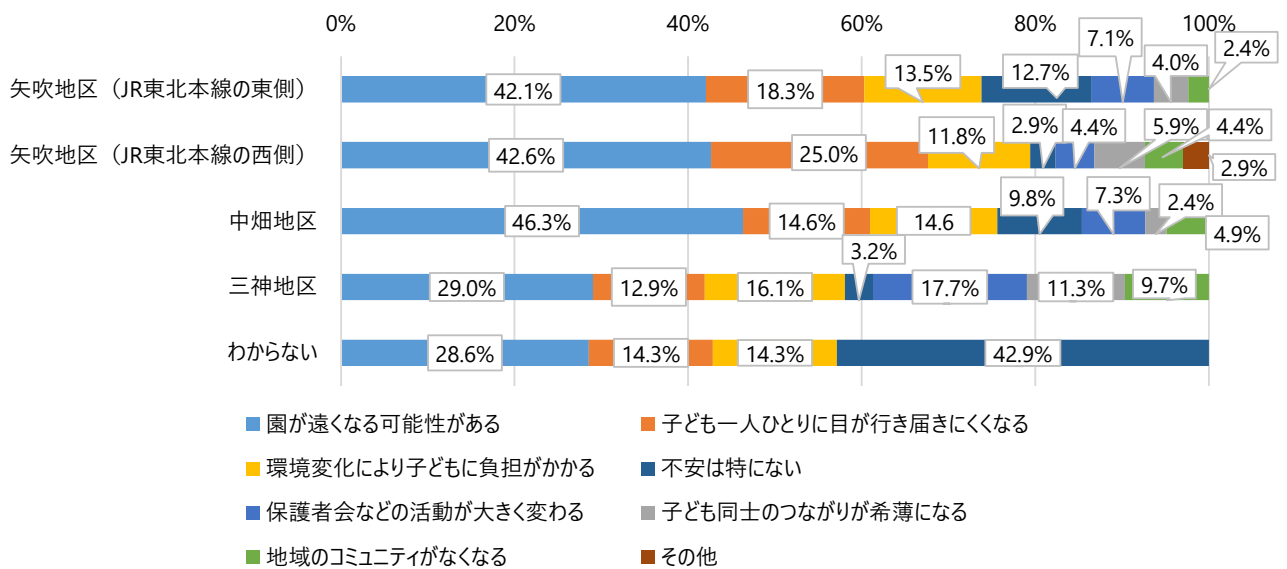


設問 3

あなたが不安に思われる点をお聞かせください（当てはまるものを選択）

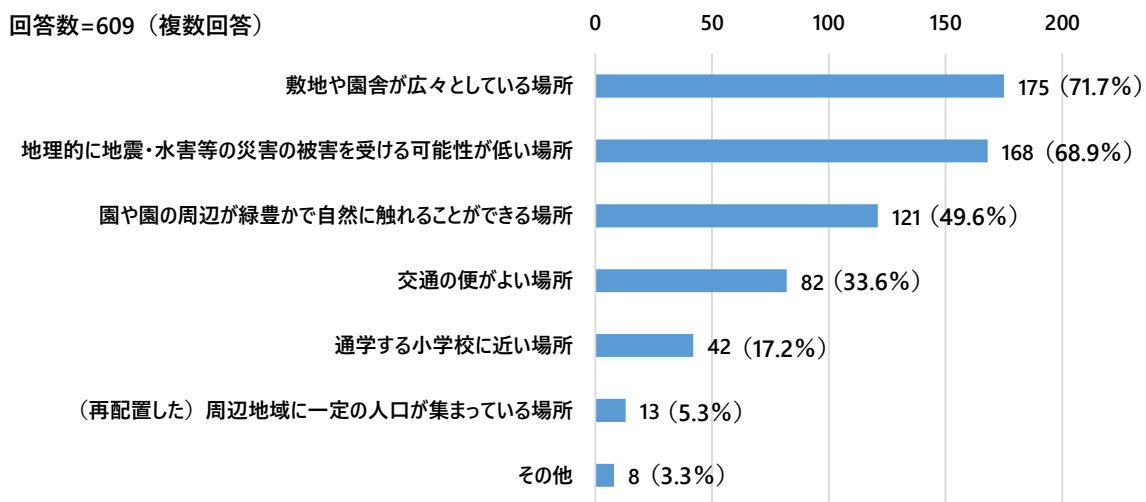


設問 1 と設問 3 のクロス分析

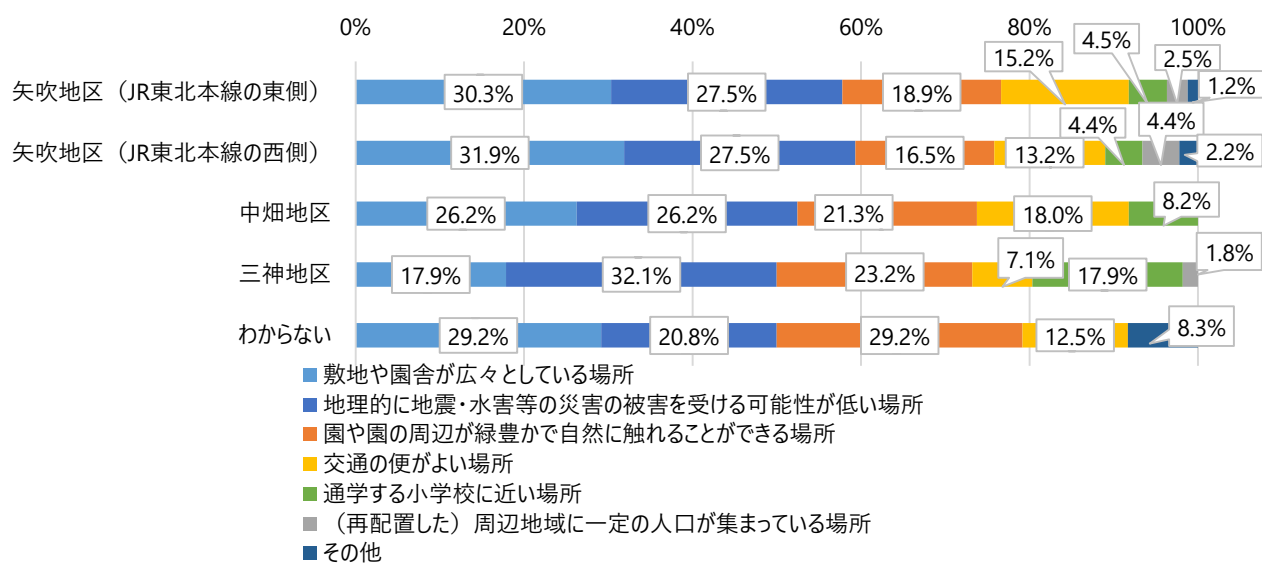


設問 4

園の立地環境に関して、子ども（これから生まれてくる子どもも含めます。）にとって、特に重要だと思われる条件についてお聞かせください（3つまで選択）

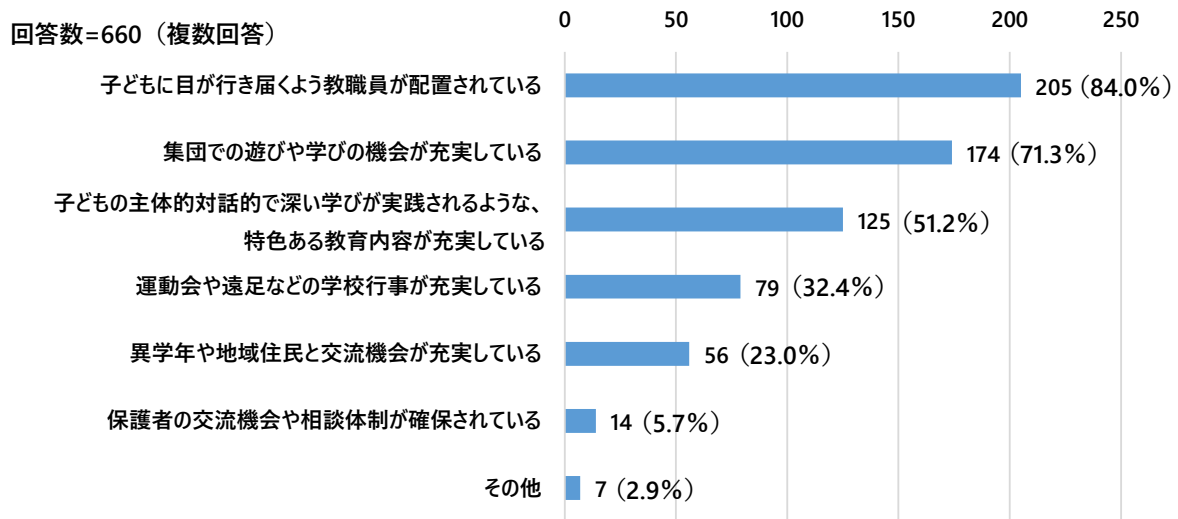


設問 1 と設問 4 のクロス分析

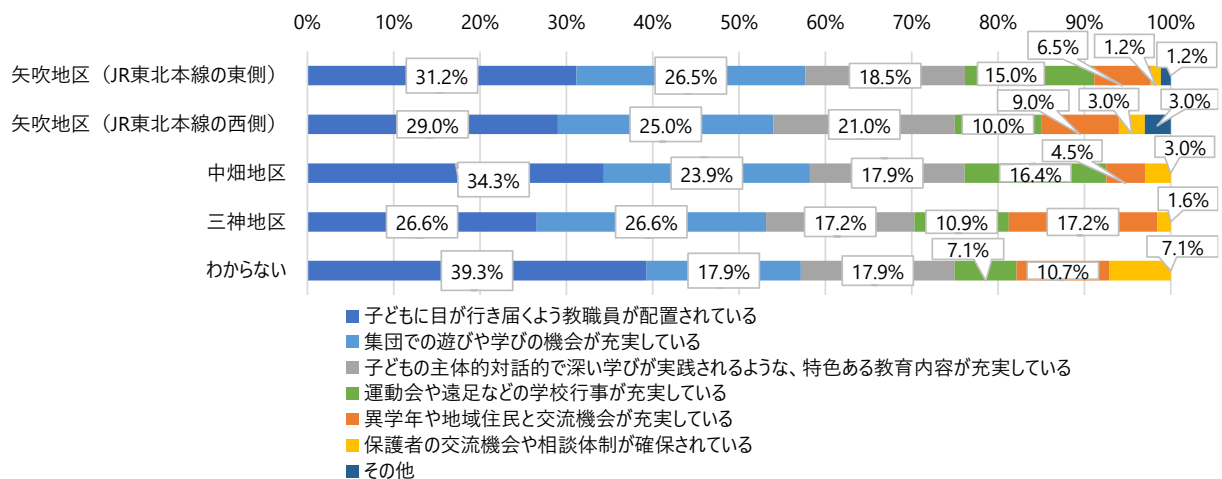


設問 5

教育に関して、子ども（これから生まれてくる子どもも含めます。）にとって、特に重要だと思われる条件についてお聞かせください（3つまで選択）



設問 1 と設問 5 のクロス分析



設問 6

統合する町立幼稚園に期待することについてお聞かせください（自由記述）

分類	主なご意見
ソフト	子ども一人ひとりに目が行き届くような教職員の配置 - 教職員がゆとりを持って配置されていることを望む。それが、園児が尊重されることにつながる - 先生方に無理がかからないような環境を整備していただき、ゆとりを持って子どもたちと関わっていただきたい - 個人差が大きい幼児期のいろいろな発達段階の子ども達に手厚い教育や、保育ができる環境 - 事故などが起きないよう教員の人員は多くして欲しい - 教職員を増やして子ども達一人一人に目が届く様にしてほしい
	集団での遊びや学びの充実 - 人数の偏りがなくなり、行事が活気あるものになると思うし、環境が良い施設ができればと思う - 各学年の人数が増える為、運動会をはじめ園児に競争力や協力をする事が身につく - 集団生活に慣れ、これから迎える学校生活に戸惑いなく進めること - 少人数になってしまうと集団での遊びや学び、行事実施にも影響が出てしまうので、なるべく早期に統合した方がよいのでは - お友達とかかわる中でたくさんの学びや体験をしてほしい
	教育内容の充実 - 英会話、読み書き、身体機能を高められるような活動ができる園 - リズムや運動遊びの時間をもっと増やしてほしい - 英語、ひらがな、体育などが学べる教室を園児が自由に行き来でき、小学校の学びに興味を持てるような機会があるといい
	預かり保育の拡充 - 働く親として、預かり保育の充実をお願いしたい - 仕事をしている家庭が多いので早朝、延長保育などの対応してほしい - 土曜保育もあると嬉しい
	幼稚園給食の提供 - お弁当ではなく、幼稚園給食になってほしい - 現状のお弁当給食にはやや不満なため町で給食センターを作してほしい - 園に給食室があり、昼食やおやつを手作りしてほしい - 今はお弁当給食だが、汁物等のある温かい給食になるとより良い
ハード	新しく綺麗な園舎 - 新しい園舎の建築 - 他にないオシャレな園 - 園の建物がキレイになり、遊具も充実させること - 全ての園を廃園にして新しく園をひとつ作り、小学校も同じようにする
	園舎・園庭・駐車場等が広い - 園児達がのびのび過ごせる広々とした園舎、園庭 - 送迎のための広い駐車場 - 体育館が広々として欲しい
その他	- 無料の通園バス - 遠方から通園される方は、雪などの際不安になると思うので、預かり時間に柔軟性を持ってあげたほうが良い - ピアノや空手や書道やダンスなど心身にいい活動を預かり保育の時間帯に充実に利用したい - 地域の方々や小学校の子ども達、他学年の子ども達や保護者との交流が深まることを期待する - 欠席連絡やお迎え時間変更などをアプリでできるようにしてほしい - 病児保育もあるといい - 特別な支援が必要な幼児に適切な対応ができる環境 - 町内4地域の枠を越えた活動・学習 - 保護者同士の交流も充実してほしい - 町立の認定こども園として、0歳から通園できるようにしてほしい - 子ども・保護者・先生・地域などによるつながり
統合を懸念するご意見	- 統合してほしくない - 今のところ不安しかない

【地区別集計結果】

地区	主なご意見
矢吹地区 (JR東北本線の東側)	広々とした新しい園で子どもがのびのびと学んでほしい - 広々とした園庭、新しい設備、新しくオシャレな園舎がいい - 教職員を増やして子ども達一人ひとりに目が届くようにしてほしい - 英語をはじめとした教育を充実させてほしい
矢吹地区 (JR東北本線の西側)	教職員を適正に配置してほしい - 先生方に無理がかからないような環境を整備することで、ゆとりを持って子どもたちと関わっていただきたい - 各学年の人数が増えることで、子ども達のコミュニケーションが増え、競争力や協調性が身につく - 子ども達一人ひとりが健やかに楽しく過ごせる園が一番
中畑地区	園児数が増えることで一人ひとりに目が行き届かなくなることは避けてほしい - 今まで少ない人数で一人ひとりよく見てもらっていたのが、統合により目が届かなくなり、事故などが起きるのが1番不安 - 伸び伸びと育ち学び、地域の交流を感じ、安心して先生方をお願いできる穏やかな環境を守ってほしい - 新しい綺麗な園を建築してほしい
三神地区	教職員の十分な確保が必要。また、統合は不安であり避けてほしい - 一人ひとりに目が行き届くように教職員を十分確保してほしい - 統合してほしくない。今のところ不安である - 保護者同士の交流も充実させてほしい
わからない	子どもが関わる事件・事故が起きないよう、子どもにとって、安心・安全に過ごせる場所にして欲しい

設問 7

その他何かご意見があればお聞かせください（自由記述）

分類	主なご意見	
ソフト	教職員の負担軽減 - 教職員の方の待遇面(給与など)を充実させていただきたい - 教職員の増員による負担の軽減	園児数の増加により、子どもたちへ目が行き届かず、事故が起きるような園にはなってほしくないため、教職員の配置を充実してほしい
	教育内容の充実 - 運動能力や芸術的な能力、英会話、プログラミング等の専門の指導者も導入してほしい - クッキングの体験を増やし、手作りの素材の大切さを学ばせてほしい	英語や韓国語や中国語など多言語異文化の展開で子どもの視野を広げる活動を行ってほしい
	認定こども園への移行 認定こども園への移行も検討してほしい	幼稚園で使用しなくなった施設を、認定子ども園などとして使用し各地区に残すのどうか
	その他 - 一箇所に統合して園の質があがれば何より。魅力的な園ができることを楽しみにしている - 気温と服装の調整が難しいため制服もなくてよい(ブレザーだけでOK) - 給食費の無償化を実現してほしい	- 統合した場合、通園時間が長くなる可能性があることから、開園・閉園の時間を今までより長くした方がいい - 幼稚園・小学校について選択制を導入してほしい - スクールバスを検討してほしい - 長期休みでも預けられるようにしてほしい
ハード	送迎のための駐車場が広い 送迎のため駐車場の確保をしてほしい	全園児の保護者が止められる駐車場があればいい
	安全・防犯対策の徹底 安全・防犯のための対策は十分にしてほしい	事故防止のため監視カメラなどの設備を導入してほしい
	その他 園舎が古いので、統合し園舎を新しく建てて欲しい	園庭で運動会ができるようにしてほしい
その他	- 検討状況を随時ホームページ等で共有してほしい - 年中無休の小児科を誘致するなど、子育て環境を整えてほしい	小学校の小規模化も進んでいるため小学校の統合も同時に進めてほしい
統合を懸念するご意見	- 愛着のある幼稚園を統合してほしくない - 統合には不安が大きいので今の体制で保育を続けてほしい - 統合しなければならない状況というのは分かるが、最後の一人になるまで各幼稚園そのままいてほしい	- 統合して幼稚園が遠くなるのであれば、通園が難しくなるため利用しないことも考える - 統合により地域から子どもがいなくなり、地域の活力が失われてしまうのではないか

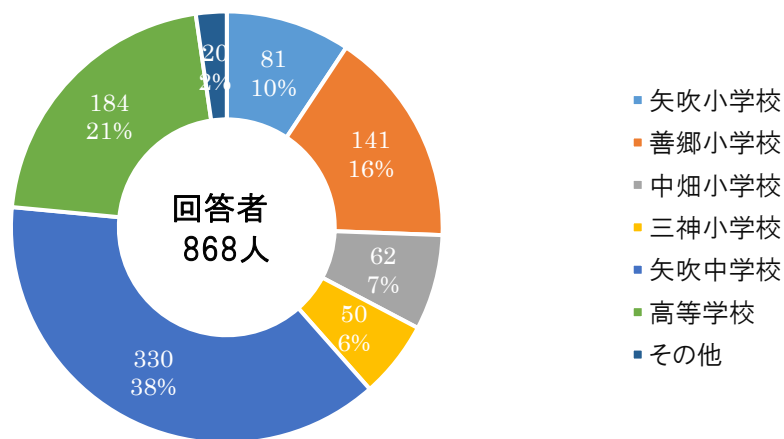
【地区別集計結果】

地区	主なご意見
矢吹地区 (JR東北本線の東側)	預かり日数・時間の幅を広げてほしい - 夏休みなど長期休みでも預けられるようにしてほしい - 通園時間が長くなる可能性があることから、開園・閉園の時間を今までより長くした方がいい - 教職員を増員するなど教職員の配置をしっかりとほしい
矢吹地区 (JR東北本線の西側)	子どもたちがのびのびと健康に成長できる園を実現してほしい - 子どもたちがのびのびと健康に成長できる幼稚園の実現を期待する - 保育部門、幼稚園部門、児童クラブ館が同一建物で整備してほしい - 検討状況を随時ホームページ等で共有してほしい
中畑地区	老朽化が進む園舎を新しくしてほしい。また、可能であれば統合は避けてほしい - 園舎が古いので、園舎を新しく建ててほしい - できれば統合せずに今の体制の保育を継続してほしい - 小学校の統合も併せて進めるか、選択制を導入してほしい
三神地区	愛着のある幼稚園の統合は避けてほしい - 子どもの通っていた幼稚園が無くなるのは寂しいので統合には反対 - 統合により園が遠くなると通園が難しくなるため、利用しないことも考える - こども園化も検討してほしい
わからない	子どもだけでなく先生方も仕事がしやすい環境にしてほしい

(6) こどもアンケート結果

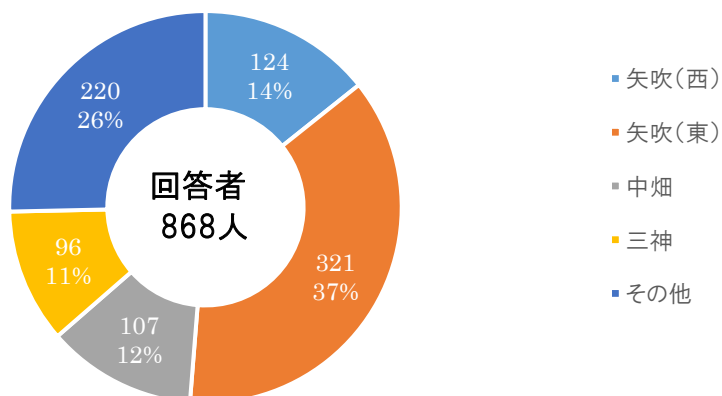
設問 1

あなたは、どこに通っていますか。(1つ選択)



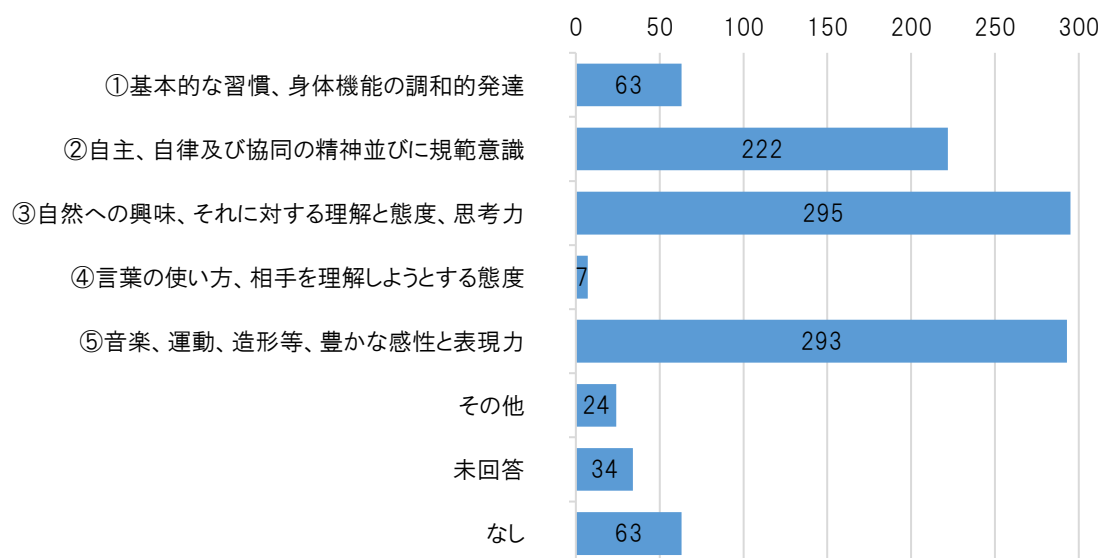
設問 2

どこにお住まいですか。(1つ選択)



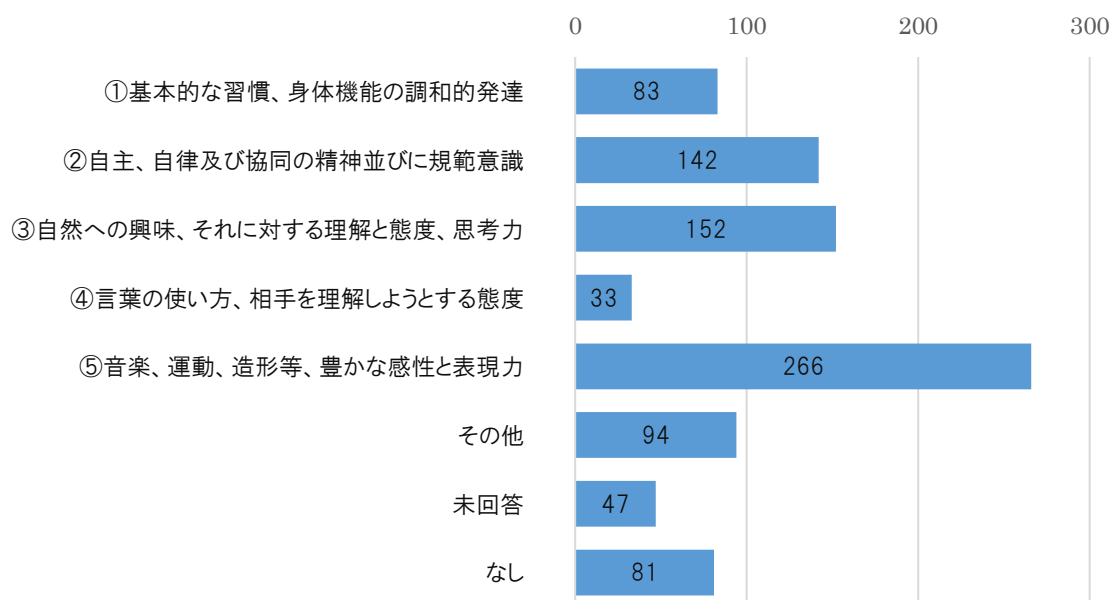
設問 3

あなたが通っていた幼稚園・保育園・認定こども園での思い出や、良かった・楽しかったと思う体験を教えてください。



設問 4

あなたがもう一度、5歳に戻れるとしたら、幼稚園・保育園・認定こども園で、何をやってみたいですか。



※ 設問 3、設問 4 におけるグラフの各項目の詳細については、次頁の表 1 の項目のとおりとなります。

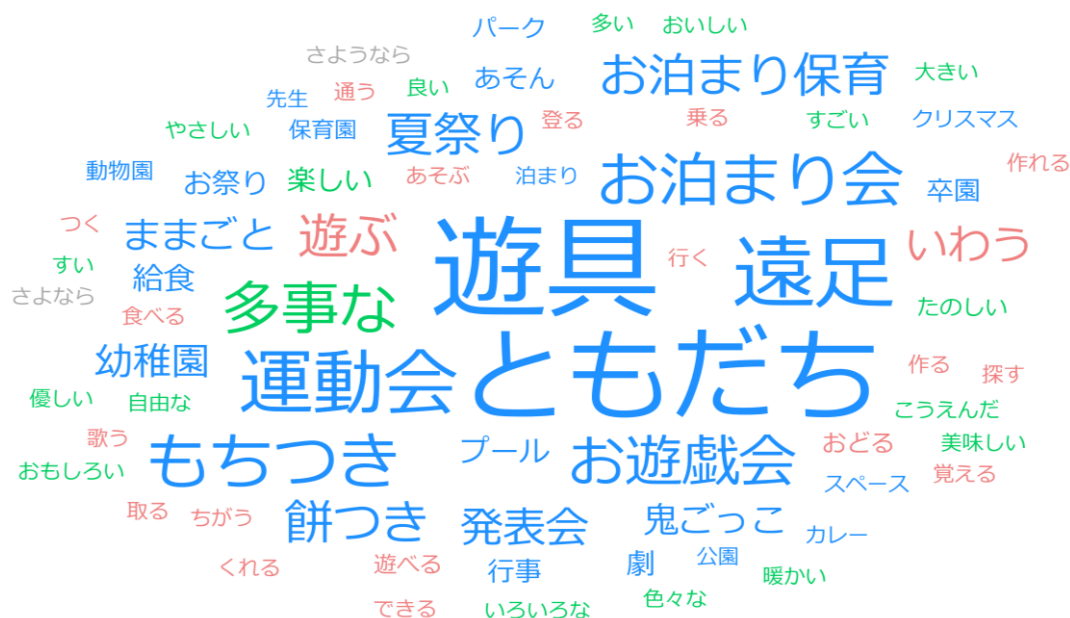
<表 1> 学校教育法第 23 条より抜粋

分類	項目	設問 3	設問 4
①	健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。(お昼寝、自由だったこと、先生が優しかった)	63	83
②	集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。(おままごと、行事、みんなで遊んだ、友達と遊んだ、友達づくり)	222	142
③	身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。(遠足、お泊り会、散歩)	295	152
④	日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。(ひらがなを書く練習、紙芝居、勉強)	7	33
⑤	音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。(お遊戯会、運動会、外遊び、発表会)	293	266
その他	その他	24	94
未回答	未回答	34	47
なし	なし	63	81

※ 回答が複数あるものについては、それぞれでカウントしていますので、回答数とは誤差があります。

<例：遠足と運動会が楽しかった。(分類 3 と分類 5 でカウント。) >

こどもたちの意見を基に出現頻度等を分析し、分析結果の「可視化」「見える化」したテキストマイニング作成しました。(青：名詞、赤：動詞、緑：形容詞、灰：その他)



分類 1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。

先生にあまえたくて、ロープにわざとひっかかったこと。
お昼寝の時間
ハンモックで遊んで楽しかった。
みんなで一緒に寝てたこと
帰りのバス
好きなだけ遊んで寝れること
私が通っていた認定こども園ボプラの木では先生が私に対していつも優しく接してくれたのが思い出でした。私が困った時、喧嘩した時、嬉しかった時もいつも優しくしてくれました。わたしが一番楽しかったのはみんなで遊んだ時でした。
色々出来たこと
先生が優しくかった
全て楽しかった。
保育園はベットがあって居心地が良かった。
幼稚園は小学生との交流があり楽しかった。
毎日楽しかった
幼稚園はとても清潔で給食もあり、間違ったことをすれば先生が注意してくれ安全で良い環境だったと思います。

イベントの時にお菓子やジュースがもらえた。
 いろんな人と遊んだこと
 お菓子パーティー、ハロウィンパーティー
 お祭りやスイカ割りが楽しかったです。
 お祭りを自分が通っている幼稚園内でひらいた事です。
 きびたんとの交流
 クリスマスにイエスキリストの劇をしたこと

クリスマスにサンタが来てプレゼントをもらった
クリスマス会、大きな積み木ブロック
たんじょうびの時にいわってくれた。
ともだちができた。
みんなでおもちゃで遊んだ
みんなでお買い物
みんなでたくさん遊んだこと
みんなでなにかを作ったり、あそんだり、行事をしたこと。
みんなでやったしっぽ取り、お祭り、お化け屋敷、
ゆうびんやさんごっこ
違う認定子ども園と交流したこと。
夏に外で皆でヨーヨー釣りをしたことが楽しかったです。
夏休み期間の夏祭り
花火大会
花見
帰る時に、先生と、「先生、みなさんさようなら」と手をつなぎながら言っていたこと。たくさんの、
ゆうぐがあり、先生や友達とたくさんあそんだこと。
休み時間に友と一緒に遊んだこと'陶芸教室
春 豆まき 夏 すいかわり 秋 おちば拾い 冬 クリスマス たくさんあるけど1番楽しかった
事です。
色んな先生とたくさん遊んで同級生の子達共たくさん遊んで小さい子が寝ている時大きい学年になると
遊ぶのがとても楽しかった
節分で鬼に追いかけられた
先生たちとおままごとをしたり、先生にシールを貰ったりしたこと。
先生と友達とたくさんおもちゃで遊んでおかしパーティーをしたこと。
卒園式に出たこと
誕生日にみんながいわってくれたことが思い出。
地域の中高生と一緒に遊んだこと
保育園でおばけやしきをやった
友達ができたこと
友達とたくさん遊べたこと 先生方が優しくかった
友達と一緒にテントを作った事
友達と一緒に楽しく遊んだこと 先生達の接し方が優しくかった。
夕涼み会
幼稚園のころの友達などのお母さんとかお父さんが来て一緒に遊んだらしたこと
良かったことは、素敵な友達に出会えたこと。
分類3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思
考力の芽生えを養うこと。
・もちつきをした。・えんそくが2回あった。ほかのクラスの先生がやさしくしてくれた。クラスト
クラスの行ききがよくあった。
・給食がバイキング制だった。・遠足・ジャンプ台や、遊具がたくさんあった。・もちつき・プール・ク
リスマスで劇をやった。
おじいちゃんやおばあちゃんと、もちつきをしたり、カレーを作ったりするのがすごく楽しかった。
お祝い給食 焼き芋を焼く 鼓笛 かき氷を食べる
お泊まりした 芋掘った ピザ作った プール入った 一人で虫探し
お泊まり会や泡風呂やカレーを作った事
お餅をみんなでついて食べたこと！美味しかった！夏に幼稚園でお祭りがあって、ヨーヨーとかいろい
ろあって楽しかった！
カップケーキ作り
キャンプファイヤー友達とお泊まりしたり。その時自分が誕生日で祝ってくれたこと。
クッキー作り
こども園での祭り おとまり会（年長だけ） 卵探し プールなど・・・給食がバイキング制 おばけ
やしき もちつき 運動会
ザリガニを釣って飼育した。
スイカ割りを目隠しして割っていたこと
スペースパークにみんなで行ったことです

ちがう保育園や幼稚園にいたり遊んだりしたこと。
どろあそび
ハーバリウム体験、和菓子作り
パフェを作ったりプールに入ってた時。
バルーンをやったこと
パンを作ったりする、良い体験ができました。楽しかった事はいちご狩りや夏祭りです。思い出は、お泊まり会です
パン屋さんでオリジナルのパンを作ったこと。美味しかったです。
ひかり保育園では先生もやさしく、友達がいっぱいいて、えんそくもたのしくて、帰り会の時には、みんなで「さよなら」などと、言っていた思い出があり、とても、楽しかったです。
まつりやとまり、おでかけとかをしていたのしかった
みんなで、近くの野原に散歩しに行ったこと。
みんなでいちご狩りに行ったこと
みんなで四つ葉のクローバーを探してたくさん見つけられたこと
みんなで泥団子作ったりおままごとしたり外遊びしたりした
みんなといっしょに工作したり遊んだり夢の国に行ったり水族館に行ったり
もちつきをみんなでしたのが楽しかったです。
ロボット公園に行ったこと。
遠足が楽しかった（電車でスペースパーク）
遠足や夏祭り、お泊りでバーベキューやおばけやしきをしたことです。他にも、木の遊具で遊んだり、自分たちで手作りしたり毎日のバイキング形式のご飯が美味しかったです！
何かの種を植えたこと
花冠を永遠と制作、自然観察
楽しかったのは夏祭りや肝試し、お泊まり会です。
肝試し、カレー作り、音楽会、運動会、プール、芋掘り
紙をつくった
自由時間中の虫取り
授業参観でやったお母さんとの図工
親子遠足
世界地図や日本地図などを年間を通して作れたこと
大池公園でザリガニつり。スイカわり。
茶道体験
電車に乗ったこと 動物王国に行ったこと
那須りんどう湖ファミリー牧場に行った時
年長のとき白玉作りをしたこと
畑でしょく物や食べ物をそだてられたこと
餅をついて、味噌汁の中に入れて、食べたこと
野菜の収穫体験・遠足(動物園・プラネタリウム)
友達とアクアマリン福島に行ったこと
友達と折り紙などをして遊んだ
和菓子体験

分類4. 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。

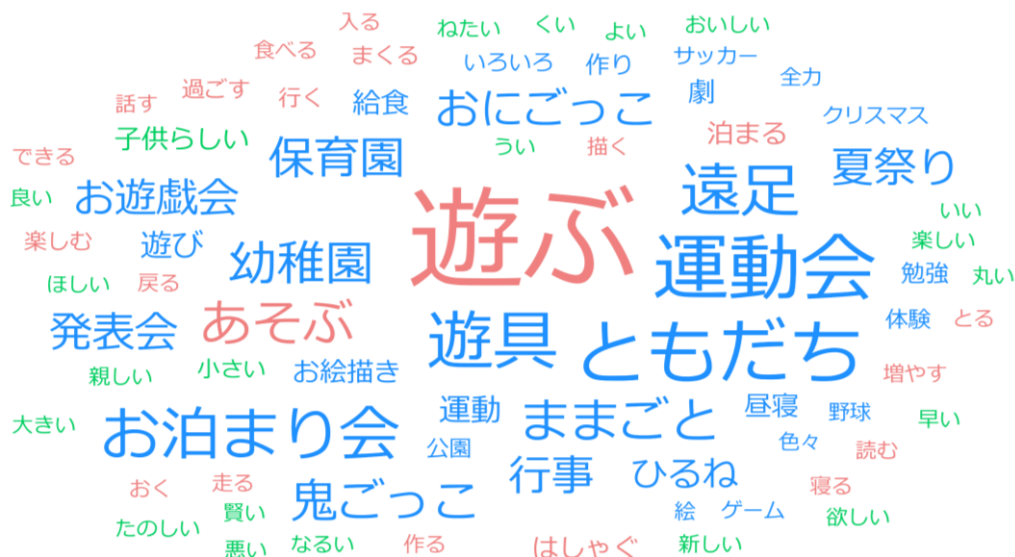
ひらがなを書く練習
今の小学校や中学校でいうグループワーク？があって、ひらがなを書いてしりとりしたり友達同士で手紙を書いたりしました勉強になるし楽しかったです。
寝る前に紙芝居を聴いたこと
寝る前に紙芝居を聞いたこと
読書
幼稚園でべんきょうできたからよかった

分類5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

アスレチックやトンネルがあって、遊ぶ時にとても楽しかったです。
いろんな遊具や木に登ったり、祭りをしたりして楽しかった
おままごと、外で遊ぶこと、お歌歌う、先生と話す

おやつがおいしかった。マシュマロがからんでるざくざくしたおかしが好きだった。たまにその場でフルーチェを作って食べるのもたのしかった。あと発表会。
おやつや給食がおいしかった。行事が多かったり、遊具がいっぱいあったりして楽しかった。
おゆうぎ会でおむすびころりんをやった。パンケーキ えほうまき おにぎりを作った
お絵かきの時間
お外で遊ぶのがたのしかった
お祭りや、劇、イースターなどのたくさんの行事があった。ジャンプ台、ひみつきちがあった。
お遊戯会、遠足、みんなとたくさん遊んだこと、家族と遊んだこと
カレーライス作り、劇、友達と遊べたこと
キャンプファイヤーと運動会とお泊まり会
クラスのみんなでカレーを作ったり、絵の具をぶちまけて遊んだり、自分達で運動会の準備をしたりしてすごく楽しかった。やりたいことを全部やりきれた。
サッカー、戦いごっこ、おままごと
さ道体験や、リトミック（はだしで音にあわせて動く。）
スイカを食べれたこと プールに入れたこと
ずっと友達と外で遊んだり遠足に行ったり
スポーツのインストラクターの人と一緒に運動しながら遊んだこと。
畑で作った野菜でみんなで料理をしたこと。
ひかり保育園でみんなと雪玉を投げて遊んだこと
ブランコ、粘土、友達とのおままごとが楽しかった
ポプラの木で運動会をしたりお泊り会をしたり山登りをしたり夏祭りや料理を作ったことです。
ポプラは結構遊具がすごかったからめっちゃ楽しかったし、床暖があったりしたので冬でも暖かかったです。給食を上に乗って食べに行くときにみんなで並んで行ったり、かくれんぼしたりしました。外遊びで泥団子が流行っていてとっても楽しかったです。
マラソン大会でいい結果が出せた
みんなと、楽しいことをやった「劇・お餅作理体験・ハロイン会」
みんなとアスレチックで遊んだことが楽しかった
ラーメン体操、園長先生と二人でお弁当を食べたこと。みんなでリレーをしたこと
運動会、お祭り、年長は寝ない、プール、1年生と年長の交流やカレー作り
運動会でダンスを踊ったこと。
運動会や遠足などのイベントで仲良く協力してやっていた。
三輪車
山で遊んだり遊具であそんだりしたこと
紙に絵を描いたり外で走ったりしたこと
秋の終わりくらいに、組ごとに劇をやったり踊ったりした思い出がある。
雪が降った時の山からのソリ滑り
朝の歌う時間、劇
外に遊具が多く、外遊びの時間がとても楽しかった。室内も本やおもちゃが多くあり、パズルやブロックなどの頭を使うものも多くあった。
発表会でシンデレラを披露したことが楽しかった。
発表会でどうぞの椅子とブレーメンの音楽隊をやった事。遠足で那須動物王国に行った事。
毎日ドッジボールやっていた
毎日朝のマラソンがあったこと。
友達とジャングルジムで鬼ごっこして遊んだ。誰が一番早く登り棒を登り切れるか競ったりした。
友達と折り紙をしたりお遊戯会でダンスをしたことが思い出
友達と氷鬼をたくさんしてブランコをこぎながら歌っていました
夕涼み会、発表会
幼稚園で先生の手伝いをしたのと、運動会で旗をやって楽しかったのと友達ができたこと
幼稚園の友達と劇をやったのがすごく楽しかったです！

こどもたちの意見を基に出現頻度等を分析し、分析結果の「可視化」「見える化」したテキストマイニング作成しました。(青：名詞、赤：動詞、緑：形容詞、灰：その他)



分類 1. 健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。

いっぱい遊んでいっぱい寝る
お昼寝したい 園全体での行事を増やして欲しい
みんなが楽しめる事
みんなと仲良く何も考えないで楽しく今まで通りに過ごしたいです。
帰りのバスで寝たい
保育園に行ったことがないから保育園です！
目をよくしたいです
遊んでたくさん寝たい
幼稚園でもう一度楽しく生活したい
分類2. 集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
おままごとをする。お昼寝の時間を楽しむ。
友達を増やしておきたい。遠足 小学校の問題をやっておきたい。
〇〇体験などのことをもっとふやしてほしい
あまり親しくなかった人と喋りたい
おかしパーティーをみんなでやってみたい。
おもちゃで遊んだり遊具で遊んだり、子供らしいことをたくさんしたい。
お祭りをやってみたい。
クリスマス会でプレゼントもらう
たくさんの子とお友達になりたい。
みんなで、仲良く遊びたい。
みんなでお誕生日会がやりたいです！
みんなでめっちゃはしゃぎたい！！
みんなで遊んだり楽しいことをいっぱいやりたい
もう一度、認定こども園の友達と遊びたい

もっとみんなと遊んで笑いたい
皆んなでお買い物をしたい！
金魚すくい
小さい頃からコミュニケーションをもっとたくさん取りたい
親子行事をたくさんしてみたい
先生ともっと話す。友達ともっと楽しむ。自分の意見を言う。
体験学習みたいなのをやりたいです。
茶道体験
転校してしまった子ともう一度遊ぶ
豆まき
保育園でもう一回いろいろな行事を楽しんでみたい
友達といっぱい(たくさん)あそびたい！
幼稚園、クリスマス会やりたい
幼稚園であそんでた友達とまたあそびたい。

分類 3. 身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。

みんなで毎日遊んだり、遠足をしたりお泊まり会をしたりしたいです
いろんなことちょうせんしてみたい←なにか作ったり、いろんな運動をしたり
全児童でダンスや手形アート
みんなでお菓子作り
遠足に行きたいです。みんなと水族館に行きたいです。
外でのお弁当
街探検いっぱいしたい
寒天作り
給食をいっぱい食べたい
県外で泊まってみたい。
砂場遊び
自然の中で遊ぶ
小さい頃はメニューがよく分かっていなかったからランチをもう一回食べたいです。
色んな所に見学に行ってみたい
森林学習で自然とふれあいたい。
世界旅行
生き物を飼育してみたい。
町探検をもっとして虫をいっぱい見つけたい
泥団子作り
動物とのふれあい体験
保育園でピザ作り
保育園で泊まりたい
野菜をたくさん育てたい
友達とアクアマリン福島に行くこと
幼稚園、保育園外への積極的な散歩

分類 4. 日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。

その時の友達と絵を描いたり外で走りたい。
もっと運動や勉強を最初から頑張りたい
運動をたくさんしたい。目が悪くならないような生活をしたい。勉強を少しでもできるようにしておきたい。
5 さいから勉強をする。
いろんな絵本を読みたい
グループ活動
たくさん平仮名勉強して、たくさん遊ぶ
たくさん本を読む。
もし 5 歳に戻れるとしたら、もっと勉強をしたかったです。
もっと遊んだりもう少し勉強する
英語を勉強をやってみたい

学問
漢字を書いて驚かせる
紙芝居
字をめっちゃ綺麗に書いてみたい
小さい頃から英語(アルファベット)に触れてみたいと思いました。
大好きだった絵本を読んで、その本の名前を覚えて買ってもらいたい。
勉強をやっていたかった
本をたくさん読みたい！
友達ともう一度色々話したい。
分類5. 音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。
夏祭り、音楽会、運動会、遠足、野菜を植えたり、掘ったりする
遊具で遊ぶ、運動会をしたい、縄飛びをしたい、夏祭りをしたい、音楽会をしたい
みんなの物の整理とイベントを増やしたい プールも入りたいし、餅つきもしたい、また運動会をしたいし、みんなでお弁当を食べたい
親子遠足・運動会・発表会
幼稚園全体でリレー お泊まり会
外で全力で遊ぶ、お絵描きなど
・ともだちとのうんどうかい。
いろいろなスポーツに触れたい
いろいろなところを探検すること。
ウインタースポーツ
お絵描きを思う存分やりたいです
ギターを弾いてみたいです
スケボー
だんす
テニス
ドッチボール
バレー
バレエ体験
ピアノ
プールで遊んだりもっといろんなことをして遊びたい
みんなで、公園で遊んだりしたい。
やったことないスポーツを小さいころから経験したい
やっばーマウンテンという幼稚園にある山に登って叫びたい！
運動会で1等賞をとってみたい
運動会で丸い布を使った演技をしたい
園児たちとたくさん踊りたい。
絵を描いて想像力を身に付けたい
学習発表会がやりたい
逆上がりをできるようにしたい
工作
三輪車を本気でこぎたい
色々な遊具などで思いっきり遊ぶ
体をもっと体を動かす運動をやってみたい。
中央幼稚園で小さい丘に登ったりブランコをこぎたいです。
縄跳び出来るようになりたい
粘土遊びや、鬼ごっこがしたいです。
木登り
野球(運動)をしたい
友達と外でいっぱい遊ぶ
踊りの練習とか楽しかった